

# 柏市健康増進計画

## 令和 2 年度 進捗状況報告書

令和 3 年 1 0 月

# 目 次

1	栄養・食生活	1
2	身体活動・運動	9
3	休養・こころの健康	18
4	喫煙	25
5	飲酒	31
6	歯・口腔の健康	34
7	糖尿病	44
8	循環器疾患	49
9	がん	55

表の見方	【事業名】	* : 事業名, 事業概要, 指標が全て再掲であるもの
		※ : 事業名は再掲だが, 事業概要または指標が異なっているもの
	【ライフステージ】	○ : 該当
		△ : 一部該当

# 1. 栄養・食生活

(1) 適正体重を維持するための知識の普及																																																																															
① 成人女性のやせ(20歳代)[BMI 18.5未満]及び成人男性の肥満[BMI 25.0以上]の減少																																																																															
② 児童・生徒の肥満[標準体重の+20%以上]の減少																																																																															
③ 体重の変化を気にしている人(成人)の割合の増加																																																																															
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性																																																																	
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																																																				
保健所 健康増進課	給食施設指導事業	①個別指導(各施設を個別に巡回し、現地指導を実施。電話、来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別、施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回調査実施)	他課 (学校保健課・保育運営課)  柏市保健所管内集団給食研究会	①なし ②なし	・肥満及びやせの割合の減少  ・啓発媒体活用増加	△	△	△	○	○	△	<table border="1"> <tr><th colspan="5">給食施設指導件数</th></tr> <tr><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th></tr> <tr><td>33件</td><td>33件</td><td>39件</td><td>47件</td><td>11件</td></tr> <tr><th colspan="5">「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(国基準:、H26年度比+5%以上)</th></tr> <tr><td>1.0%</td><td>2.8%</td><td>5.6%</td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="5">「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(国基準:、H26年度比+5%以上)</th></tr> <tr><td>1.0%</td><td>0.9%</td><td>0.0%</td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="5"><small>※平成30年度からは厚労省より指導方針が示されなかったため、H26との比較は行わず前年度との比較で指導・助言を行っている。</small></td></tr> <tr><th colspan="5">「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)</th></tr> <tr><td>41.0%</td><td>48.1%</td><td>57.8%</td><td>55.4%</td><td>76.4%</td></tr> <tr><th colspan="5">「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)</th></tr> <tr><td>37.0%</td><td>39.8%</td><td>48.6%</td><td>35.7%</td><td>54.7%</td></tr> </table>	給食施設指導件数					H28	H29	H30	R元	R2	33件	33件	39件	47件	11件	「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(国基準:、H26年度比+5%以上)					1.0%	2.8%	5.6%			「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(国基準:、H26年度比+5%以上)					1.0%	0.9%	0.0%			<small>※平成30年度からは厚労省より指導方針が示されなかったため、H26との比較は行わず前年度との比較で指導・助言を行っている。</small>					「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)					41.0%	48.1%	57.8%	55.4%	76.4%	「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)					37.0%	39.8%	48.6%	35.7%	54.7%	令和2年度は、新型コロナウイルスまん延に伴い、個別巡回を縮小したため指導件数が減少した。巡回では、令和2年度に日本人の食事摂取基準が改定となったことから、基準に沿った栄養管理が行われているか確認し、指導・助言を行った。令和2年度は肥満及びやせの割合が増加した施設が前年度と比較し増えた。特に公立小中学校は、53施設中48施設において肥満者の割合が増加した。コロナ禍で喫食者の在宅時間が例年よりも増加し、食生活が変化したことが理由のひとつとして考えられる。改善策を検討し、主管課等と連携することで肥満及びやせの割合減少に向けて取り組んでいきたい。また啓発媒体の作成・活用をし、効果的な周知・配付をすることで個々に働きかけられるよう支援を行う。	新型コロナウイルスの感染状況に考慮しながら、個別巡回を例年通り行うことができるよう進める。各施設の割合変動を確認し、増加傾向にある施設や該当割合が多い施設における改善対策の指導・助言を継続的に行う。啓発媒体を作成する等新たな改善策を検討し、積極的に取り組んでいく。					
						給食施設指導件数																																																																									
						H28	H29	H30	R元	R2																																																																					
						33件	33件	39件	47件	11件																																																																					
						「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(国基準:、H26年度比+5%以上)																																																																									
						1.0%	2.8%	5.6%																																																																							
						「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(国基準:、H26年度比+5%以上)																																																																									
						1.0%	0.9%	0.0%																																																																							
						<small>※平成30年度からは厚労省より指導方針が示されなかったため、H26との比較は行わず前年度との比較で指導・助言を行っている。</small>																																																																									
						「肥満に該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)																																																																									
41.0%	48.1%	57.8%	55.4%	76.4%																																																																											
「やせに該当する者の割合」の増加施設割合(各施設における前年度比増)																																																																															
37.0%	39.8%	48.6%	35.7%	54.7%																																																																											
学校教育 部 学校保健課	学校給食提供事業(小学校)	給食を生きた教材として、児童を対象に適切な摂取量や、成長に必要な栄養分を習得する。  また、養護教諭と連携し、咀嚼の重要性や栄養バランスの取れた食事、栄養と運動の両面を意識することで、健康な生活習慣を習得するための食育事業を行う。	学校歯科医	①なし ②なし	定期健康診断における肥満【標準体重の+20%以上】の人数の減少	○						<table border="1"> <tr><th colspan="5">給食実施回数(平均)</th></tr> <tr><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th></tr> <tr><td>185回</td><td>185回</td><td>185回</td><td>181回</td><td>173回</td></tr> <tr><th colspan="5">対象者数</th></tr> <tr><td>21,690人</td><td>21,917人</td><td>21,961人</td><td>22,063人</td><td>21,901人</td></tr> <tr><th colspan="5">肥満【標準体重の+20%以上】の人数</th></tr> <tr><td>1,506人</td><td>1,515人</td><td>1,606人</td><td>1,696人</td><td>2,178人</td></tr> <tr><th colspan="5">肥満【標準体重の+20%以上】の割合</th></tr> <tr><td>6.9%</td><td>6.9%</td><td>7.3%</td><td>7.6%</td><td>9.9%</td></tr> <tr><th colspan="5">やせ【標準体重の-20%以上】の人数</th></tr> <tr><td>284人</td><td>304人</td><td>286人</td><td>268人</td><td>271人</td></tr> <tr><th colspan="5">やせ【標準体重の-20%以上】の割合</th></tr> <tr><td>1.3%</td><td>1.4%</td><td>1.3%</td><td>1.2%</td><td>1.2%</td></tr> </table>	給食実施回数(平均)					H28	H29	H30	R元	R2	185回	185回	185回	181回	173回	対象者数					21,690人	21,917人	21,961人	22,063人	21,901人	肥満【標準体重の+20%以上】の人数					1,506人	1,515人	1,606人	1,696人	2,178人	肥満【標準体重の+20%以上】の割合					6.9%	6.9%	7.3%	7.6%	9.9%	やせ【標準体重の-20%以上】の人数					284人	304人	286人	268人	271人	やせ【標準体重の-20%以上】の割合					1.3%	1.4%	1.3%	1.2%	1.2%	定期健康診断において、肥満20%以上の児童の割合が増加した。増加の原因として令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により3月～5月の長期休業、また通常4月に実施する身長・体重測定が6～7月の実施となったため、月齢体躯や休業中の食習慣や運動習慣を含めた生活リズムの乱れが大きく影響したと考えられる。加えてコロナ禍による体育授業の内容や時間の変更に伴い、全体的な運動量の減少も影響したと考えられる。学校再開後は、少しずつ生活リズムが整い、また、授業等で食育を実施できた学校もあったが給食時間も黙食が必要となり通常の食育を行うことは難しかった。令和3年度においては、生きた教材としての給食を基本に、授業だけではなく、短時間での栄養指導を媒体等工夫して行い、児童を対象に適切な摂取量や成長に必要な栄養量について指導、家庭においても望ましい食事摂取の仕方について資料の提供を行っていく。	健康な生活習慣を習得するためには、望ましい食習慣や運動習慣が必要である。柏市としての食育カリキュラムを検討していく中に、学校歯科医や養護教諭、学校栄養職員と連携できる「よく噛んで食べること」や「生活リズムの大切さ」等について学級活動や教科単元を示し、多くの学校で実施できるよう積極的に働きかけるようにする。また、限られた時間の中で効果的に体を動かせるような運動内容について指導課とも連携して考えていく。
						給食実施回数(平均)																																																																									
						H28	H29	H30	R元	R2																																																																					
						185回	185回	185回	181回	173回																																																																					
						対象者数																																																																									
						21,690人	21,917人	21,961人	22,063人	21,901人																																																																					
						肥満【標準体重の+20%以上】の人数																																																																									
						1,506人	1,515人	1,606人	1,696人	2,178人																																																																					
						肥満【標準体重の+20%以上】の割合																																																																									
						6.9%	6.9%	7.3%	7.6%	9.9%																																																																					
やせ【標準体重の-20%以上】の人数																																																																															
284人	304人	286人	268人	271人																																																																											
やせ【標準体重の-20%以上】の割合																																																																															
1.3%	1.4%	1.3%	1.2%	1.2%																																																																											



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、栄養をテーマとしたプログラムについて、管理栄養士等が講座を行う。	東葛北部在宅栄養士会, 地域包括支援センターなど	①なし ②なし	市民の意識・行動変容(栄養の改善)							フレイル予防講座(栄養)の参加者数	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により実施回数が減少した。その中でも、フレイルチェックによりリスクが高かった方に対して、個別の支援を行う事業を開始した。令和3年度では、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施にも取り組むことから、フレイルハイリスク者への個別支援も併せて、地域分析を行い、新たな事業に取り組むことを目指す。	地域分析によって出た課題や事業に対し、効果的な取り組みを図っていく。				
												H28			H29	H30	R元	R2
						介護予防センター主催の教室						133人			74人	44人	27人	41人
						フレイル予防出前講座						85人			145人	199人	259人	26人
						地域包括支援センター主催の教室						372人			250人	366人	150人	33人
						フレイルハイリスク者への個別支援						-			-	-	-	16人
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険 特定保健指導	特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、3か月以上の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。	・柏市医師会 ・JA(ちば東葛, 東葛ふたば, いちかわ) ・千葉県厚生農業共同組合連合会 ・千葉県民保健予防財団 ・千葉県国保連合会	①なし ②なし	生活習慣病の発症及び重症化の予防							特定保健指導実施率	①集団健診での初回面接の実施 平成30年度から、国が示す「第3期特定健診・特定保健指導」に基づく、特定保健指導の支援期間の見直し(6ヶ月から3ヶ月)、初回面接の分割実施を導入し、集団健診に活用している。 ②各事業における保健指導の実施 特定保健指導の実施率向上のための取組として、糖尿病専門医による健康講座及び糖尿病性腎症重症化予防プログラム参加者を対象に、事業の中で保健指導を実施する(令和2年度は、服薬の有るものを対象としたため未実施)。 ③面接方法の拡充 多忙な市民や、感染症予防対策として、国の方針により、電話や遠隔面談による特定保健指導を令和2年度より実施。 ●令和3年度の課題や取り組み 保健指導を受けやすい環境整備が課題である。令和3年度は遠隔面談の利用者が増えるよう保健指導利用勧奨通知に遠隔面談についてのリーフレットを送付。また、電子申請での面談の受付を開始。 ●その他 新型コロナウイルス感染拡大予防対策について ①令和3年5月の医療機関説明会における研修会について 蔓延防止等重点措置の対象区域になったことから少人数で全9回分散化し開催している。説明や講座についてはビデオ上映とし、全医療機関に糖尿病専門医による研修会資料をCDに収録し配付。 ②集団健康診査の受付方法の変更について 令和2年度から、30分ごとに時間を区切り少人数での受付とし、健康チェックシートを活用している。	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」,「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価からの課題改善を踏まえた取組を実施する。				
												H28			H29	H30	R元	R2
												21.4%			23.0%	29.0%	26.7%	11月以降確定

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和2年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
市民生活部 保険年金課	健康づくり相談	健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う。	—	①なし ②なし	健康診査の結果により、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う							相談者数 H28 H29 H30 R元 R2 98人 35人 42人 40人 45人	令和2年度は、特定健診の結果、特定保健指導に該当しない方や、「75歳以上の健康診査」、「18歳から39歳までの健康診査」の受診後の事後フォローとして実施している。  令和3年度は、新規事業である年度内39歳を対象にした、「プレ特定健康診査」を対象者に含めて実施。引き続き、健診結果等を元に、対象者のニーズに応じた相談支援を行うことで、生活習慣の改善に向けた支援をすることで、生活習慣病の予防及び重症化予防の取組を推進していく。	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価からの課題改善を踏まえた取組を実施する。
保健所 健康増進課	柏市健康診査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。対象者に個別通知、希望者は申し込み。	柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。							受診者数 H28 H29 H30 R元 R2 239人 278人 321人 365人 394人	令和2年度の受診者数はほぼ横ばいだが、過去5年間で157人増となっている。令和3年度は40～74歳は申込制から全数通知により、個別の受診勧奨につなげる。	生活支援課との協働により、受診勧奨に努める。
保健所 健康増進課	へるすアップ相談	●平成29年度より実施 骨粗しょう症検査、柏市健康診査の結果、生活習慣改善の必要なかたに、保健師・管理栄養士が個別相談を行い、個人の生活に即した具体的なアドバイスを行う。	柏市医師会	①なし ②なし	健診等結果を踏まえて自らの生活習慣を振り返り、主体的に健康づくりに取り組むことができる							相談利用率(骨粗しょう症検査受診者) H28 H29 H30 R元 R2 — 10.7% 7.0% 8.3% 4.5%	・事業内容に大きな変更はなかったが、新型コロナウイルス感染症の流行により、骨粗しょう症検査及び柏市健康診査の受診期間が1ヵ月短縮している。 ・令和元年度に比べ参加者数が半減しており、対面相談のため、影響が大きかったと考えられる。 ・利用率向上の為、対面相談以外にも電話やオンラインでの対応も検討していく。	・新型コロナウイルス感染状況を考慮し、相談方法の選択肢の検討を行う。

(2)野菜の摂取量の増加														
④野菜摂取量の増加の割合(成人)														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所健康増進課	給食施設指導事業(※)	①個別指導(各施設を個別に巡回し, 現地指導を実施。電話, 来所による相談) ②集団指導(テーマに応じ職種別, 施設種類別に研修会を開催) ③調査報告(各給食施設の運営・栄養管理状況を把握するため年2回の調査を実施)	他課 (学校保健課・保育運営課)  柏市保健所管内集団給食研究会	①なし ②なし	・給食施設の食品構成における野菜摂取量の増加 ・野菜料理の残渣量の減少 ・ヘルシーメニューの提供増加 ・啓発媒体活用の増加	△	△	△	○	○	△	給食施設指導件数 H28 H29 H30 R元 R2 29件 33件 39件 47件 11件	令和2年度は, 新型コロナウイルスまん延に伴い, 個別巡回を縮小したため指導件数が減少した。個別巡回において食品構成や野菜摂取量についての聞き取りに力を入れ, 必要に応じて助言していく。喫食者への直接的な指導が難しい施設向けに啓発媒体を作成する等, 効果的な周知・配付をし, 個々に働きかけるよう引きつづき支援を行っていく。	新型コロナウイルスの感染状況に考慮しながら, 個別巡回を例年通り行うことができるよう進める。個別巡回で聞き取りをした野菜摂取量について考察し, 新たな改善案や啓発案を検討する。
保健所地域保健課	啓発事業	イベント等の中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員  各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 4,869人 3,979人 3,705人 3,014人 中止 啓発実施者数(栄養・食生活) 1,076人 290人 1,375人 1,478人 中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 市民を対象とした地域健康講座や健康教育, 地域行事が中止となり, 啓発の機会を確保することができなかった。推進員活動においては, 今後の啓発事業に繋がるよう, 内部研修を実施している。コロナ禍における啓発の方法や使用媒体について, 引き続き検討を行う。	令和元年度以前と同様に, 地域健康講座や健康教育等による啓発を実施し, 地域における健康づくりを推進する。
保健所健康増進課	健康づくり普及啓発事業	イベント, 健康教育の中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	・庁内関係各課 ・各種団体及び企業関係	①モラージュ柏 第一生命保険 ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 4,869人 1,872人 2,657人 4,973人 2,833人 ※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲 啓発実施者数(栄養・食生活) 1,076人 918人 663人 946人 90人 ※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲 依頼の健康教育参加者数(講師: 栄養士) - - 155人 19人 中止 ※H30年度～健康増進課として計上	令和2年度は, 新型コロナウイルス流行に伴い, 例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され, 啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に合わせて実施した企画展示にて, 栄養に関するリーフレットを設置し, 啓発を実施した。また, 「第一生命」との協定により, 第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり, 「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に, 地域職域と連携し, 一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は, 引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し, 健康情報を広く周知, 啓発していく予定。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。
		事業概要		①民間企業		ライフステージ						実績値	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と	

所管課	事業名	対象者・内容等 (対象者・内容等)	連携機関	②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	大規模 (実施回数・参加者数・参加率等)					令和4年度の方向性	
												令和2年度は飲食店へチラシの作成・配付と、県の事業である「健康ちば協力店」登録店舗へ周知用物品を配付し、登録推奨を行った。結果9店舗登録店を増やすことができた。また、登録店へアンケートを実施し、市民の方が、登録店舗へ配付しているのぼり旗に興味をもっていただけということがわかった。令和3年度は市民へ事業内容の認知度を高めるため、周知用物品の作成やホームページ等を活用し、野菜を摂取しやすい環境整備を進めたい。						
保健所 健康増進課	栄養改善事業	「野菜を食べよう柏協力店」事業	柏市保健所管内調理師会 市内関係各課	①柏市内飲食店 ②なし	野菜を食べることのできる食の環境整備とする。	△	△	△	○	△	△	登録店舗数					令和2年度は飲食店へチラシの作成・配付と、県の事業である「健康ちば協力店」登録店舗へ周知用物品を配付し、登録推奨を行った。結果9店舗登録店を増やすことができた。また、登録店へアンケートを実施し、市民の方が、登録店舗へ配付しているのぼり旗に興味をもっていただけということがわかった。令和3年度は市民へ事業内容の認知度を高めるため、周知用物品の作成やホームページ等を活用し、野菜を摂取しやすい環境整備を進めたい。	引き続き周知用物品や、ホームページ等効果的な周知方法を検討・実施し、店舗数の増加を目指す。市内他部署とも連携することで、市民へ事業の認知度を上げ、店舗の利用率向上から野菜の摂取量増加につなげたい。
												H28	H29	H30	R元	R2		
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加				○	○	△	メール配信登録事業所数					・事業所向けの健康情報のメール配信は年間11回実施。令和2年度は、栄養や生活習慣病予防等の健康づくりに関する情報の他、新型コロナウイルス感染症の内容も取り入れた。コロナ禍でメール配信の周知機会が減り、登録事業所数があまり増えていないため、令和3年度は機会を捉えて積極的に周知を進めていく。 ・健(検)診や健康づくり、各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを改訂し、事業所等に配付。令和3年度も内容を見直し作成、配付を行う。 ・新型コロナウイルスの影響で、協議会は1回のみ(書面開催)となり、事業所向け講習会も中止となった。令和3年度の講習会の実施については、柏労働基準協会とも調整を図り実施に向けた検討を進める。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法を検討し、関係団体と連携を図りながら取組を推進する。
												H28	H29	H30	R元	R2		
経済産業部 農政課	食の安全・安心対策推進事業	農産物をサンプリングし、放射性物質検査を行う。また、検査結果についてホームページや広報などを通じて公表。	千葉県 一般財団法人 千葉県環境財団	①一般財団法人 千葉県環境財団	食の安全・安心を確保する。				○	○		検査品目数・検体数					消費者の不安を取り除き、安心して柏産の農産物を購入できるよう継続的に検査を実施していく。また、検査の頻度等に関しては、放射性物質の影響範囲を見極めながら費用対効果のバランスも考慮し実施していく。	
												H28	H29	H30	R元	R2		



(3)朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及																		
⑤朝食の欠食率の減少																		
⑥食事のバランスのよい割合(成人)の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 地域保 健課	母子保健食 育	<p>&lt;ママパパサロン・栄養 &gt;妊婦とそのパートナー を対象に、講話やグルー プワークを通じた妊娠期 の食生活支援を行う。</p> <p>&lt;離乳食教室、母と子の つどい、8か月児相談、2 歳の歯☆ピカランド、幼 児健康診査&gt; 乳幼児期の保護者を対 象に、講話や栄養相談を 通じた食生活支援を行 う。</p>	—	①なし ②なし	「バランスのとれ た食事を規則正 しくとる健康的 な食習慣」を定 着させるため、 母子保健サービ スを活用し、健 康づくりの意識 づけをする。	○				△		3歳児健康診査における主食・主菜・副菜を そろえた朝食の割合					<p>・3歳児健康診査における主食・主 菜・副菜をそろえた朝食の割合は横 ばい。</p> <p>・主食、主菜、副菜をそろえたバラ ンスの良い食事の啓発強化のため、 新生児訪問、離乳食教室における リーフレットの配布を追加実施。</p> <p>・R3.3に改訂された「妊娠前から始 める妊産婦のための食生活指針」を 妊娠届時に全数配布。妊娠期及び 授乳期における望ましい食生活につ いて情報発信を行う。</p> <p>・引き続き妊娠期から乳幼児期の食 への関心が高まる時期に、各事業を 通じてバランスの良い食事について 啓発していく。</p> <p>・個別相談において生涯を通じた健 康的な食習慣を身に付けられるよう 支援を行っていく。</p>	引き続き、各事業を 通じて健康的な食習 慣の啓発を推進す る。
												H28	H29	H30	R元	R2		
保健所 健康増 進課	栄養改善事 業 (※)	<p>栄養士業務連絡会(栄養 改善・健康増進等の支援 の推進を検討) 健康ちば協力店登録推 進(健康づくりの取り組み を実施する飲食店の登 録) 栄養関係団体育成(栄 養・健康づくりを担う関係 団体の育成) 講演会の企画(食育推進 研修会、給食施設従事 者研修会</p>	<p>柏市保健所管 内調理師会 柏市保健所管 内集団給食研 究会 柏市医師会</p>	①なし ②なし	関係課、関係団 体との連携によ り食事のバラ ンスのよい割合が 増加	△	△	△	△	△	△	研修会実施回数					<p>感染症拡大防止のため、例年実施 している研修会(4回)のいずれも中 止となった。今年度はWebを活用し た研修会を検討している。</p> <p>柏市栄養士業務連絡会において、 「柏市行政栄養士業務関係資料」の 改訂を行った。栄養士が在籍する部 署の情報を集約し、全てのライフス テージを網羅できるよう連携を図っ ている。</p> <p>認定栄養ケアステーション柏市連絡 協議会が発会された。主に高齢者 の栄養管理を担っていただき、その 支援・育成をする。</p> <p>千葉県が実施主体である健康ちば 協力店の要件が変更された。食事 環境の整備を図りながら、健康づく りに結び付けていく。</p>	栄養士業務連絡会に おいて、課題の共有、 実践の具体化を行え るよう、会議に加えて 研修会を実施する。 関係部署、関係団体 との連携を強化し、全 ての年代の方へ普及 できるように進める。
												H28	H29	H30	R元	R2		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
こども部 保育運営課	クッキング保 育	保育園の園児が、栽培 から収穫の過程を経験 することで、食物への関 心を高める。 園児が栽培した作物と同 じ野菜を利用して、5歳児 がクッキングを行い、食 べる。	各公立保育園 の保育士、調理 員と保育運営課 栄養士との連携	①なし ②なし	自分たちで育て たものを、友達 と一緒に調理 し、食べる喜び を味わうことで、 食に関心を持 つ。	○						クッキング保育実施園数					例年、クッキング保育は、各園の担 当栄養士と保育士で実施内容を検 討し、行っている。 令和2年度は、新型コロナウイルス 感染症の感染予防対策を行い、全 園、内容を統一し、実施した。制限 がある中ではあったが、園児は食に 関心を持ち楽しく取り組むことがで きた。 令和3年度は、引き続き、新型コロ ナウイルス感染症の感染予防対策 を行った上で、各園毎に実施内容を 検討し行う予定である。	令和3年度を実施し、 検討する。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												22園 (5歳児全 員参加)	22園 (5歳児全 員参加)	22園 (5歳児全 員参加)	22園 (5歳児全 員参加)	22園 (5歳児全 員参加)		
学校教育 部 学校保 健課	こども部 保育運 営課	子ども健康プロジェクトの 一環として、柏市の学校 給食のメニューを学校給 食クックパッドに掲載。 パソコンや携帯からでも アクセスして、レシピを確 認することができ、バリ エーションに富んだ給食 メニューを家庭で作ること ができる。	学校保健課、保 育運営課、地域 保健課の栄養 士が連携し掲 載。	①なし ②なし	簡単でバリエー ションに富んだ 人気のある給食 メニューを周知 することで、調 理をする意欲を 高める。	○	○	○	○	○		年間レシピの閲覧数(年度)と月平均閲覧数					平成27年1月から毎月掲載。 平成29年度からは、保育園給食及 び離乳食を掲載し、より若い世代が 活用しやすい内容として取り組んで いる。令和2年度は新型コロナウイル ス感染症の影響により、家庭での 献立を充実させる傾向が見られ、お すすめ朝食等も掲載した。今までに 掲載した献立をまとめ、幅広い料理 内容に取り組んでいく。 【令和3年度から、柏市ホームペー ジ内の、子育てサイトにおいて、柏 市立保育園の給食ページを設け、給 食献立や人気レシピの掲載を開始し た。】保育運営課	継続し、関係各課連 携のもと、取り組んで いく。
H28												H29	H30	R元	R2			
												年間閲覧 数 395,550件	年間閲覧 数 231,996件	年間閲覧 数 285,870件	年間閲覧 数 267,137件	年間閲覧 数 296,146件		
												月平均 32,962件	月平均 19,333件	月平均 23,823件	月平均 22,261件	月平均 24,679件		

2. 身体活動・運動

(1)運動習慣の定着																									
①運動習慣者の割合の増加																									
②20～59歳のほとんど運動していない人の割合の減少																									
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性											
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期														
地域づくり推進部 スポーツ課	各種スポーツ教室の開催	<p>&lt;JR野球教室&gt; 市内中学校23校の中学2年生を対象に、JR東日本野球部の選手達をコーチに招き開催</p> <p>&lt;バスケットボール教室&gt; 市内ミニバスケットボールチームに所属している小学生を対象にJX-ENEOSサンフラワーズの選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ティーボール教室&gt; 実施希望のあった市内小学校を対象にYBC柏の選手をコーチに招き開催</p> <p>&lt;ランニングクリニック&gt; 市内在住・在勤・在学の方を対象に積水化学女子陸上競技部の選手をコーチに招き開催</p>	YBC柏	<p>①JR東日本野球部</p> <p>①JX-ENEOSサンフラワーズ</p> <p>①積水化学女子陸上競技部</p> <p>①千葉ロッテマリーンズ</p> <p>②なし</p>	市のスポーツを活かしたまちづくりの推進	参加者の技術向上やホームタウンチームである柏市への愛着を深めること							<p>各スポーツ教室参加者合計</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>597人</td> <td>437人</td> <td>480人</td> <td>398人</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>※バスケットボール教室未実施</p> <p>※ランニングクリニックはスポーツ課が実施</p> <p>※積水化学ランニンググクリック中止</p> <p>※ティーボール教室のみ実施(2校)</p>	H28	H29	H30	R元	R2	597人	437人	480人	398人	-	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ティーボール教室のみ実施。令和3年度については、コロナ禍でのスポーツ推進を目標に、感染症対策を施しつつ、ホームタウンチームの選手と触れあう機会を提供していく。</p>	引き続きホームタウンチームと連携し、幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催することで、市民が柏市への愛着を深めるとともに、スポーツへの関心や参加機会を増進し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。
							H28	H29	H30	R元	R2														
597人	437人	480人	398人	-																					
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な連動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	<p>①第一生命、介護事業者、イオン、JR東日本、日立、フィットネス振興会、ダンロップスポーツウエルネス</p> <p>②ダンロップスポーツウエルネス</p>	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)							<p>推進委員会実施回数</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R元	R2	3回	3回	2回	1回	2回	<p>令和2年度は、4月から柏フレイル予防ポイント制度をスタートさせたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりカード発行臨時窓口やポイント対象事業の活動が一時休止を余儀なくされた。夏以降は、市内大型SCや公共施設内などで臨時窓口の開設を行いポイントカード発行枚数は2,555枚となった。</p> <p>令和3年度については、制度普及に向けた取り組みとして近隣センターでのカード発行を開始し、スポーツジムなど民間事業者と連携したポイント対象事業の拡大を引き続き推進する。</p>	フレイル予防の普及・啓発と効果的な広報、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推進し、フレイル予防によるまちづくりの実現を目指していく。	
						H28	H29	H30	R元	R2															
3回	3回	2回	1回	2回																					

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護)予防事業のうち、身体活動をテーマとしたプログラムについて、リハビリテーション専門職、運動トレーナー等が講座を開催する。	柏市在宅リハビリテーション連絡会、柏市社会福祉協議会、柏市地域包括支援センターなど	①なし ②なし	市民の意識・行動変容(身体活動の促進)							フレイル予防講座(運動)の参加者数	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により実施回数が減少した。その中でも、フレイルチェックによりリスクが高かった方に対して、個別の支援を行う事業を開始した。令和3年度では、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施にも取り組むことから、フレイルハイリスク者への個別支援も併せて、地域分析を行い、新たな事業に取り組むことを目指す。	地域分析によって出た課題や事業に対し、効果的な取り組みを図っていく。					
						H28	H29	H30	R元	R2									
						介護予防センター主催の教室						8,625人			6,387人	5,798人	6,306人	3,634人	
						フレイル予防出前講座						1,157人			868人	1,509人	1,274人	26人	
						地域包括支援センター主催の教室						704人			336人	1,131人	983人	481人	
						フレイルハイリスク者への個別支援						—			—	—	—	22人	
保健所健康増進課	地域ウォーク	<p>&lt;地域ウォーク&gt; 歩くことが好きな市民を増やす目的で開催する。</p> <p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p> <p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; ※H30年度で終了</p>	市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会 我孫子市	①UDCK ②なし	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>	△	○	○	○	○	△	実施状況	<p>イベント開催に伴う費用対効果や参加者の運動継続性について評価しにくい実情を踏まえ、令和2年度は市民が歩きやすい環境の整備へと方向転換。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、本市独自の環境整備にまでは至らなかった。令和3年度は働く世代の運動量増加を目指し、ウォーキングマップの作成及び配付を行い、評価検証をしていく。</p> <p>ウォーキングパスポートについては、令和2年度にアンケート項目の見直しを行ったため、令和3年度以降は市民の運動への取組状況やパスポート利用による評価を実施していく。</p> <p>UDCK主体の健康まちづくり部会では、令和2年度には健康に資するサインの設置を実施。令和3年度はその評価検証を行い、市の立場でまちづくりの観点からも健康推進を行っていく。</p>	働く世代の運動量増加を目指し、効果的な啓発や事業を実施していく。					
						H28	H29	H30	R元	R2									
						手賀沼ふれあいウォーク実施回数						1回			1回	1回	—	—	
						手賀沼ふれあいウォーク参加者数						207人			295人	658人	—	—	
						ウォーキングパスポート発行数						123冊			2,289冊	2,036冊	2,323冊	2,256冊	
						ウォーキングイベント回数						—			—	—	1回	—	
						ウォーキングイベント参加人数						—			—	—	約1,000人	—	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性						
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期									
保健所 地域保健課	地域ウォーキング	<p>&lt;地域ウォーキング&gt; 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめるきっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座</p>	<p>庁内関係各課</p> <p>柏市民健康づくり推進員</p> <p>各種団体及び企業関係</p>	<p>①なし</p> <p>②なし</p>	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>							実施状況	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民を対象とした活動や講座が中止となった。推進員活動においては、今後の啓発事業に繋がるよう、内部研修を実施している。コロナ禍における啓発の方法や再開時期、感染症対策について、引き続き検討を行う。</p>	<p>令和元年度以前と同様に、地域健康講座や健康教育等による啓発、地域ウォーキングを実施し、地域における健康づくりを推進する。</p>						
												H28			H29	H30	R元	R2		
						地域ウォーキング実施回数						17回			12回	12回	11回	中止		
						地域ウォーキング参加者数						374人			151人	153人	177人	中止		
						地域健康(ウォーキング以外)講座実施回数						13回			31回	11回	9回	中止		
						地域健康講座参加者数						557人			593人	461人	332人	中止		
保健所 地域保健課	啓発事業 (※)	<p>地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各課</p> <p>柏市民健康づくり推進員</p> <p>各種団体及び企業関係</p>	<p>①なし</p> <p>②なし</p>	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。</p>							依頼の健康教育実施者数(全数)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民を対象とした健康教育が中止となり、啓発の機会を確保することができなかった。コロナ禍における啓発の方法や使用媒体、周知方法について、引き続き検討を行う。</p>	<p>年間計画に基づいた啓発を実施する。</p>						
												H28			H29	H30	R元	R2		
												2,298人			2,169人	758人	651人	中止		
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	<p>イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各課</p> <p>各種団体及び企業関係</p>	<p>①モラージュ柏 第一生命</p> <p>②なし</p>	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。</p>							啓発実施者数(全数)	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス流行に伴い、例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され、啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に合わせて実施した企画展示にて、身体活動・運動に関するリーフレットを設置し、啓発を実施した。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、ホームページによる発信の充実を図る。</p>	<p>健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。</p>						
												H28			H29	H30	R元	R2		
												4,869人			1,872人	2,657人	4,973人	2,833人		
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(身体活動・運動)								
												2,173人			1,315人	717人	1,035人	373人		
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)								
												-			-	95人	38人	中止		
						※H30年度~健康増進課として計上														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増進課	地域・職域 連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防と こころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に 取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数 H28 H29 H30 R元 R2 27社 36社 47社 60社 62社 講習会参加事業所数 15社 29社 52社 43社 中止	・事業所向けの健康情報のメール配信は年間11回実施。令和2年度は、栄養や生活習慣病予防等の健康づくりに関する情報の他、新型コロナウイルス感染症の内容も取り入れた。コロナ禍でメール配信の周知機会が減り、登録事業所数があまり増えていないため、令和3年度は機会を捉えて積極的に周知を進めていく。 ・健(検)診や健康づくり、各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを改訂し、事業所等に配付。令和3年度も内容を見直し作成、配付を行う。 ・新型コロナの影響で、協議会は1回のみ(書面開催)となり、事業所向け講習会も中止となった。令和3年度の講習会の実施については、柏労働基準協会とも調整を図り実施に向けた検討を進める7。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法を検討し、関係団体と連携を図りながら取組を推進する。
地域づくり推進部 スポーツ課	スポーツ施設予約システム	利用者の利便性を図る。	—	①なし ②スポーツ施設指定管理者(協栄・アシックスグループ)	スポーツ施設利用者数の増加							スポーツ施設予約システムの利用方法の周知、スポーツ大会等の情報提供を行い、利用者の利便性を図った。	令和3年3月のシステム入替に伴い、利用者に利用方法の周知を行いながら、システムを継続して運用していく	
地域づくり推進部 スポーツ課	学校体育施設開放	市民の地域におけるスポーツ活動の振興を図る。	市内各小中学校	①なし ②なし	利用者数の増加							学校体育施設利用者数 H28 H29 H30 R元 R2 345,890人 319,042人 256,531人 218,479人 142,689人	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に起因した緊急事態宣言やまん延防止措置等により、長期間施設の利用を停止したこともあり、利用者の延べ数が大幅に減少している。 令和3年度についても同様の傾向が続くことが見込まれるが、市民の健康維持を踏まえ、対策の徹底を促しながら可能な限り利用出来る環境を整えていく。	施設利用の状況としては、ほぼ空きがない程度まで利用団体登録が進んでおり、新規利用が難しい状況となっている。引き続き、多くの方に利用していただける事業として進めていく。
地域づくり推進部 スポーツ課	スポーツ推進委員活動	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	①なし ②なし	参加者増加とスポーツ実施率の向上							スポーツ推進委員活動参加者数 H28 H29 H30 R元 R2 2,986人 2,944人 3,122人 3,303人 中止	令和2年度の柏市スポーツ推進委員協議会の対外的な活動は、コロナ禍にあり年度を通して自粛した。令和3年度においても自粛が続いており、ワクチン接種後の感染状況と、コロナ禍での運動不足を念頭に活動再開に向けて準備を進めている。	アフターコロナと、コロナ禍における運動不足を見据えて、地域スポーツの推進に一層取り組むとともに、幅広く参加者を募る工夫に取り組む。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
地域づくり推進部 スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの育成	クラブが活動する拠点の確保や運営のためのスタッフの確保、クラブを知ってもらうための広報活動を支援する。	市内総合型地域スポーツクラブ	①なし ②なし	市内クラブの 会員数の増加							市内クラブ会員数					令和2年度は新設された総合型地域スポーツクラブに補助金を交付し、設立後の支援を行った。既存のクラブ及び新設クラブともに、自律性の高い運営が求められる。	市内クラブの会員数の増加を支援する
												H28	H29	H30	R元	R2		
												1,234人	1,134人	1,221人	1,319人	1,227人		
地域づくり推進部 スポーツ課	スポーツ教室・講習会	スポーツへの参加を促進するため、市主催の事業の他体育協会や指定管理者によるスポーツ教室を開催する。	柏市スポーツ協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加							スポーツ教室・講習会参加者数					平成28年度から市民参加体験型のスポーツイベントを開催し、スポーツを「する」きっかけづくりの場を提供している。指定管理者による自主事業では、「柏市スポーツ施設情報誌」やホームページ、広報などの媒体を使い周知を図っている。	市民がスポーツに親しむことができるよう、より多くの機会を提供していく。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												5,087人	5,633人	4,388人	6,299人	1,580人		
地域づくり推進部 スポーツ課	補助金の交付	スポーツ団体に対し補助金を交付することで、スポーツ事業の充実を図る。	柏市スポーツ協会 柏市女性スポーツ協会 スポーツ少年団	①なし ②なし	交付団体の 市民大会などの 参加者の増加							交付団体の市民大会などの参加者数					補助金の交付により、市民大会等の事業が開催され、交付団体の事業の充実が図られている。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった大会が多く、参加者についても大幅に減少している。	補助金交付の必要性について、精査
												H28	H29	H30	R元	R2		
												48,204人	51,109人	42,284人	41,514人	14,016人		
地域づくり推進部 スポーツ課	新春マラソン大会	市民を対象としたマラソン大会を開催する。	柏市スポーツ協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加							新春マラソン大会参加者数					平成29年度より、市外からの参加も可能とし、幅広い参加者の増員を図っている。令和2年度については中止、令和3年度の実施に向け大会の充実に向けた工夫をし、子どもや親子の参加を中心に参加者の増加を図りたい。	子どもや親子の参加を促す広報活動を強化していく。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												1,426人	1,892人	1,630人	1,732人	中止		
地域づくり推進部 スポーツ課	手賀沼エコマラソン大会	市民の健康増進と街の活性化、及び手賀沼の浄化啓発を図る。	柏市スポーツ協会 柏市スポーツ推進委員協議会 他	①なし ②なし	参加者の増加							手賀沼エコマラソン大会参加者数					平成29年度から定員10,000人、参加費5,000円とし、適正な規模の大会運営ができています。令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったが、令和4年度大会開催に向けて啓発活動を実施していく。	全国的でマラソン大会が増加しており、参加者の確保が課題、参加者の獲得に向けて今まで以上に工夫が必要であるため、実行委員会で検討していく。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												8,892人	6,012人	9,080人	9,027人	中止		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性												
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期															
学校教育 部 指導課	学校体育の 促進関連事 業	①「新体力テスト」の実施 市内小中学校児童生徒・ 握力等計8項目  ②「小学校体育授業サ ポート事業」 小学校10校・特別支援学 校を中心とした体育の授 業支援  ③「運動部活動指導者派 遣事業」 中学校運動部活動・専門 的な指導ができる運動部 活動指導者の派遣	千葉県小中学 校体育連盟柏 支部	①オークスフィ ットネス、セントラ ルスポート、各 校で選出した部 活動指導者、契 約課により契約 されたサポート 事業担当者 ②なし	①児童生徒の 体力向上  ②支援を必要と する児童の運動 への意欲・技能 の向上  ③運動部活動 に加入している 生徒の意欲・技 能の向上						○	△	①全国平均を上回る項目  H28 H29 H30 R元 R2 43.7% 38.1% 40.9% 33.3% 中止  ②年間210時間の授業支援・ 実施校の満足度  100% 100% — — —  ③中学校運動部活動指導者派遣数  各校 各校 各校 各校 各校 3~5人 3~5人 3~5人 0~5人 0~5人 計87人 計87人 計84人 計85人 計79人	令和2年度は、新型コロナウイルス 感染症による休校や感染対策を講 じた体育授業の実施等の対応を 行った。体力や運動習慣に関する 調査が未実施の為、全校の実態把 握ができていないが、例年と比べ て、子ども達の運動量が減少したと 考えられる。 令和3年度は、体力状況の分析を 進めるとともに、運動習慣獲得に向 けて事業を展開する。 具体的には、体づくり運動領域に おける体育サポート事業や大学と連 携した授業づくり、学生の協力を得 て学校体育を充実させるなどの事 業展開を検討している。 水泳事業の委託に関しても、今年 度の課題と反省を明確にし、今後、 拡大して実施を進める。	子どもの体力向上と体 育の事業を含めた1日 の運動習慣には、関連 があり、1日60分以上 運動している子どもの 体力得点が他と比べて 高くなっている。 家庭でも実践できる 運動の種類や効果に ついて、授業を中心に 学校全体で学ぶ機会 を確保することで、運 動時間の向上につな げていきたい。 令和4年度には、水 泳の授業委託拡大や 部活動指導員の増員 を進める予定である。											
																運動事業利用者数						H28	H29	H30	R元	R2
																一人	421人	560人	664人	481人						
市民生 活部 保険年 金課	保健事業利 用費助成事 業 (運動事業)	18歳以上の柏市国保被 保険者と後期高齢者医 療保険被保険者に対し、 申請に基づき保健事業 利用券を年間8枚交付(1 枚1,000円相当)。18歳か ら38歳の健診事業、はり 等施術事業、お口のク リーニング事業、運動事 業に利用できる。 運動事業は、運動習慣 の獲得及び継続を支援 するため、市の指定を受 けた運動施設で入会時 にかかる費用や運動指 導・運動教室の利用費用 を助成する。	柏市フィットネス 振興会 スポーツ課	①「運動事業」 指定施設 「運動教室」指 定施設  ②なし	被保険者の健 康の保持増進								○	○	○	平成29年度から保健事業利用助成 事業のメニューに、運動習慣の獲得 及び継続を支援し、健康の保持増 進を図ることを目的に運動事業を追 加している。 保健事業利用券申請者に対する運 動事業の利用者の割合は年々増加 していたが、令和2年度は、新型コ ロナウイルス感染症の感染拡大が あり、国内でスポーツ施設でのクラ スターの発生があったことから、利 用者数が減少した。 今後も継続し、特定健康診査等 で、生活習慣の改善を要し、運動習 慣の獲得等が望ましい方に対し、保 健事業利用助成事業の利用案内を 実施していく。	被保険者の健康の保 持増進を図るため、事 業を継続実施してい く。									



(2)身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり																		
③1日の歩行時間の増加																		
④地域活動やボランティア活動への参加意識向上																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 地域保健課	啓発事業 (※)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 市民を対象とした地域健康講座や健康教育, 地域行事が中止となり, 啓発の機会を確保することができなかった。推進員活動においては, 今後の啓発事業に繋がるよう, 内部研修を実施している。コロナ禍における啓発の方法や使用媒体について, 引き続き検討を行う。	令和元年度以前と同様に, 地域健康講座や健康教育等による啓発を実施し, 地域における健康づくりを推進する。				
						H28	H29	H30	R元	R2	4,869人	3,979人			3,705人	3,014人	中止	
						※~H28年度については, 下記内容と再掲						啓発実施者数(身体活動・運動)						
						2,173人	2,737人	3,705人	2,874人	中止	※~H28年度については, 下記内容と再掲							
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (*)	イベント, 健康教育等の中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①第一生命 モラージュ柏 タカラッシュ 花王	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	令和2年度は, 新型コロナウイルス流行に伴い, 例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され, 啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて, 身体活動・運動に関するリーフレットを設置し, 啓発を実施した。また, 「第一生命」との協定により, 第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり, 「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に, 地域職域と連携し, 一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は, 引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し, 健康情報を広く周知, 啓発していく予定。また, ホームページによる発信の充実を図る。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。				
						H28	H29	H30	R元	R2	4,869人	1,872人			2,657人	4,973人	2,833人	
						※H28年度までは, 柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(身体活動・運動)						
						2,173人	1,315人	717人	1,035人	373人	※H28年度までは, 柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
						依頼の健康教育参加者数(保健師)						-			-	95人	38人	中止
						※H30年度~健康増進課として計上												

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	ウォーキング 推進事業 (* )	<p>&lt;ウォーキングパスポート&gt; 身近な運動である「歩くこと」が好きな市民が増え、主体的・積極的な健康づくりが進められるよう、ウォーキングパスポートの活用促進を展開する。</p> <p>&lt;手賀沼ふれあいウォーク&gt; ※H30年度で終了</p>	市民ウォーキング団体 千葉県ウォーキング協会	①UDCK ②なし	<p>・歩くことが好きな市民が増える</p> <p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p>	△	○	○	○	○	△	実施状況					<p>イベント開催に伴う費用対効果や参加者の運動継続性について評価しにくい実情を踏まえ、令和2年度は市民が歩きやすい環境の整備へと方向転換。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、本市独自の環境整備にまでは至らなかった。令和3年度は働く世代の運動量増加を目指し、ウォーキングマップの作成及び配付を行い、評価検証をしていく。</p> <p>ウォーキングパスポートについては、令和2年度にアンケート項目の見直しを行ったため、令和3年度以降は市民の運動への取組状況やパスポート利用による評価を実施していく。</p> <p>UDCK主体の健康まちづくり部会では、令和2年度には健康に資するサインの設置を実施。令和3年度はその評価検証を行い、市の立場でまちづくりの観点からも健康推進を行っていく。</p>	働く世代の運動量増加を目指し、効果的な啓発や事業を実施していく。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												手賀沼ふれあいウォーク実施回数						
												1回	1回	1回	-	-		
												手賀沼ふれあいウォーク参加者数						
												207人	295人	658人	-	-		
												ウォーキングパスポート発行数						
												123冊	2,289冊	2,036冊	2,323冊	2,256冊		
												ウォーキングイベント回数						
												-	-	-	1回	-		
ウォーキングイベント参加人数																		
-	-	-	約1,000人	-														
保健所 地域保 健課	啓発事業 (* )	<p>&lt;地域ウォーキング&gt; 柏市民健康づくり推進員が主催し、各地域で住民同士の仲間づくりとウォーキングをはじめのきっかけづくりを図る</p> <p>柏市民健康づくり推進員が主催するウォーキング以外の運動講座</p>	柏市民健康づくり推進員	①なし ②なし	<p>・市民が運動を始めるきっかけとなる</p> <p>・市民の運動時間が増える</p>							実施状況					<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民を対象とした活動や講座が中止となった。推進員活動においては、今後の啓発事業に繋がるよう、内部研修を実施している。コロナ禍における啓発の方法や再開時期、感染症対策について、引き続き検討を行う。</p>	令和元年度以前と同様に、地域健康講座や健康教育等による啓発、地域ウォーキングを実施し、地域における健康づくりを推進する。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												地域ウォーキング実施回数						
												17回	12回	12回	11回	中止		
												地域ウォーキング参加者数						
												374人	151人	153人	177人	中止		
												地域健康講座実施回数						
												13回	31回	11回	9回	中止		
地域健康講座参加者数																		
557人	593人	461人	332人	中止														
地域づく り推進 部 スポー ツ課	スポーツ推 進委員活動 (* )	地域スポーツの推進役として、日ごろスポーツをしない人への動機づけなどを行い、スポーツ実施率の向上を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会	①なし ②なし	参加者増加と、 スポーツ実施率 の向上	○	○	○	○	○	○	スポーツ推進委員活動参加者数					令和2年度の柏市スポーツ推進委員協議会の対外的な活動は、コロナ禍にあり年度を通して自粛した。令和3年度においても自粛が続いており、ワクチン接種後の感染状況と、コロナ禍での運動不足を念頭に活動再開に向けて準備を進めている。	アフターコロナと、コロナ禍における運動不足を見据えて、地域スポーツの推進に一層取り組むとともに、幅広く参加者を募る工夫に取り組む。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												2,986人	2,944人	3,122人	3,303人	中止		

### 3. 休養・こころの健康

(1)睡眠等による十分な休養の確保																							
①睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少																							
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動	<p>〈出前講座〉 こころの健康について講座形式で、正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>〈市民講座〉 講演会により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	<p>①たんぼぼセンター（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業）</p> <p>②なし</p>	<p>より多くの市民が、こころの健康や精神疾患に関する理解を深め、正しい知識を学ぶことができる。</p>							<p>出前講座参加者数</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により市民講座は中止、出前講座は受付中止の期間があり、講座の依頼が減り参加者が減少した。</p> <p>・HP等でメンタルヘルスのページを充実し啓発に努めた。</p> <p>・令和3年度は市民講座等の対面の啓発ではなく、HP等WEBでの啓発の充実を図る。</p> <p>・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の中で啓発を進める。</p>	<p>・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の中で啓発の取り組みを充実する。</p>									
												H28			H29	H30	R元	R2	延232人	延629人	延777人	延652人	延178人
												市民講座参加者数					74人	87人	53人	68人	中止		
(2)上手なストレス解消																							
②ストレスを感じた人の割合の減少																							
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	<p>「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な連動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進</p>	<p>医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど</p>	<p>①第一生命、介護事業者、イオン、JR東日本、日立、フィットネス振興会、ダンロップスポーツウエルネス</p> <p>②ダンロップスポーツウエルネス</p>	<p>市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)</p>							<p>推進委員会実施回数</p>	<p>令和2年度は、4月から柏フレイル予防ポイント制度をスタートさせたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりカード発行臨時窓口やポイント対象事業の活動が一時休止を余儀なくされた。夏以降は、市内大型SCや公共施設内などで臨時窓口の開設を行いポイントカード発行枚数は2,555枚となった。</p> <p>令和3年度については、制度普及に向けた取り組みとして近隣センターでのカード発行を開始し、スポーツジムなど民間事業者と連携したポイント対象事業の拡大を引き続き推進する。</p>										
												H28			H29	H30	R元	R2	3回	3回	2回	1回	2回

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性																				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																							
保健所 保健予防課	こころの病気の啓発・普及活動 (*)	<p>&lt;出前講座&gt; こころの健康について講座形式で, 正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>&lt;市民講座&gt; 講演会により, 精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p>	—	①なし ②なし	より多くの市民が, こころの健康や精神疾患に関する正しい知識を学ぶことができる。							<p>出前講座参加者数</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>延232人</td> <td>延629人</td> <td>延777人</td> <td>延652人</td> <td>延178人</td> </tr> </table> <p>市民講座参加者数</p> <table border="1"> <tr> <td>74人</td> <td>87人</td> <td>53人</td> <td>68人</td> <td>中止</td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R元	R2	延232人	延629人	延777人	延652人	延178人	74人	87人	53人	68人	中止	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により市民講座は中止, 出前講座は受付中止の期間があり, 講座の依頼が減り参加者が減少した。</p> <p>・HP等でメンタルヘルスのページを充実し啓発に努めた。</p> <p>・令和3年度は市民講座等の対面の啓発ではなく, HP等WEBでの啓発の充実を図る。</p> <p>・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の中で啓発を進める。</p>	<p>・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の中で啓発の取り組みを充実する。</p>					
H28	H29	H30	R元	R2																														
延232人	延629人	延777人	延652人	延178人																														
74人	87人	53人	68人	中止																														
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (*)	<p>&lt;こころの健康相談&gt; 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。</p>	—	①なし ②なし	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し, 生活の質の向上を目指す。							<p>精神科医による相談数(回数)</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>54件</td> <td>55件</td> <td>46件</td> <td>49件</td> <td>43件</td> </tr> </table> <p>職員による面談や訪問(延数)</p> <table border="1"> <tr> <td>1,636件</td> <td>1,800件</td> <td>1,549件</td> <td>1,774件</td> <td>1,507件</td> </tr> </table> <p>電話相談</p> <table border="1"> <tr> <td>7,570件</td> <td>8,235件</td> <td>7,529件</td> <td>7,827件</td> <td>7,768件</td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R元	R2	54件	55件	46件	49件	43件	1,636件	1,800件	1,549件	1,774件	1,507件	7,570件	8,235件	7,529件	7,827件	7,768件	<p>精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し, 関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。支援困難なケースが多く, 安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り, 体制づくりを行っていく。</p>	継続
H28	H29	H30	R元	R2																														
54件	55件	46件	49件	43件																														
1,636件	1,800件	1,549件	1,774件	1,507件																														
7,570件	8,235件	7,529件	7,827件	7,768件																														
こども部 子育て支援課 生涯学習部 図書館 保健所 地域保健課	ブックスタート事業	1歳6か月児健康診査を受診する親子に対し, 市民ボランティアが読み聞かせ体験と絵本をお渡しする。	柏市ふれあいブックスタートの会	①なし ②なし	<p>・絵本を通じ, 親子のふれあいや保護者の心安らぐ時間をつくり, 子どもの豊かな心を育む</p> <p>・ことばかけやふれあいにより, 愛される経験, 守られている経験を積み重ねることが愛着形成につながり, 乳幼児の健全な成長を図る。</p>							<p>受取者数</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>3,407人</td> <td>3,391人</td> <td>3,341人</td> <td>3,284人</td> <td>3,239人</td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R元	R2	3,407人	3,391人	3,341人	3,284人	3,239人	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため, ボランティアの読み聞かせ等の活動は休止し, 1歳6か月健診の育児相談時に保健師から本を渡し, 全ての受診者が絵本を受け取った。</p> <p>また, フォロー体制として読み聞かせの意義を伝える「ブックスタートアドバイスブックレット」を配布した。</p> <p>令和3年度はボランティアの読み聞かせ活動を引き続き休止するため, フォロー体制の継続・充実が課題となっている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ, 令和4年度の方向性を決定する。</p>										
H28	H29	H30	R元	R2																														
3,407人	3,391人	3,341人	3,284人	3,239人																														

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
こども部 子育て支援課 こども部 保育運営課	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業(児童福祉法第6条の3第6項に規定される事業)	—	①なし ②なし	子育て中の親子の孤立や子育てに対する不安の減少。	○						地域子育て支援拠点事業 延利用者数					令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため各施設予約制や人数制限を行ったため、利用者数は大幅減となった。 令和3年度は、コロナ禍における利用者のニーズを把握し、新しい生活様式における子育て支援の在り方の検討を行う。 また、既存施設については、感染症予防の視点を持ちながら内容の充実を目指す。 【令和2年度は新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言による臨時休園期間もあり、利用者は減ってしまったが、再開後はリピーターの利用や育児相談件数も一定してあった。 令和3年度も新型コロナウイルスの状況に応じ、対策を取りながらの実施となる。予約制を取り、受け入れ人数等、考慮しながら実施する。】保育運営課	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、令和4年度の方向性を決定する。
												H28	H29	H30	R元	R2		
生涯学習部 中央公民館	高齢者教育事業 いきいきセミナー	高齢者が健康でより充実した豊かな人生を送るため地域の方々と交流を深め、互いに学ぶことにより、良好な人間関係を築き社会的能力を高め、めまぐるしく移り変わる社会に順応できる能力を養う。	—	①なし ②なし	講座で学んだことを、生活の中で取り入れてもらい、健康で長生きをする。						○	講座実施状況					令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集会形式での実施が難しいことから、外出自粛により自宅にいる時間を活用し、ぬりえを通して脳トレ、認知症の予防対策および引きごもりがちな世代の生きがいつくりの支援に繋げる。 令和3年度は、令和2年度の実施状況及びアンケート結果などを考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。	令和3年度の実施状況及びアンケート結果などを考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。
												H28	H29	H30	R元	R2		
生涯学習部 中央公民館	成人教育事業 「いきいき健康ライフ講座」	長寿社会の中で元気にいきいきと過ごす手立てを学ぶ	—	①なし ②なし	怒りやストレスを軽減する						○	いきいき健康ライフ講座参加者					令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集会形式での実施が難しいことから、動画配信形式により実施した。専門的な知識を掘り下げ、発酵食品に関する知識や関心を高め、学んだ健康増進の知識を広く多くの人に知っていただく機会とした。 令和3年度は、令和2年度の実施状況及びアンケート結果などを考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。	令和3年度の実施状況及びアンケート結果などを考慮して、よりニーズのある内容を検討していく。
												H28	H29	H30	R元	R2		

(3)自殺予防対策														
③自殺者数の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健福祉部 福祉政策課	自殺予防対策事業	自殺者の減少を目的として、各関係機関との情報共有の場である自殺予防対策連絡会議を開催	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	①なし ②なし	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数 H28 H29 H30 R元 R2 57人 68人 71人 64人 未発表 人口10万人対率 13.7 16.2 16.7 14.9 未発表	<p>令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて</p> <p>平成31年3月に策定した「柏市自殺予防対策計画」に基づき対策を推進している。</p> <p>・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、柏市自殺予防対策連絡会議(1月)及び自殺予防対策庁内連絡会議(11月)については書面開催とした。</p> <p>・書面開催にあたり、計画に記載された事業の進捗管理・課題や新規事業の調査・新型コロナウイルス感染拡大に関連した動向や取り組みの調査を行い、委員からの意見聴取、庁内への共有を行った。</p> <p>・令和3年度も引き続き会議を開催し、庁内外の関係機関との連携・情報交換を実施することにより効果的な自殺予防対策を推進し、自殺者の減少につなげたい。</p>	自殺対策計画に位置づけた事業の進捗確認・評価や情報交換等を中心に、引き続き会議を開催する。
						○	○	○	○	○	○			
保健福祉部 福祉政策課	千葉県地域自殺対策強化事業費補助金事業	普及啓発・相談事業・人材育成・遺族支援・こころの健康づくり・医療連携の各事業を柱として、一次予防(事前予防)・二次予防(危機対応)・三次予防(事後対応)の観点から対策を実施	庁内関係部局、医師会、民生委員児童委員協議会、柏警察署、千葉大学、柏商工会議所、柏労働基準監督署、柏市社会福祉協議会等	①なし ②なし	自殺者の減少	○	○	○	○	○	○	自殺者数 H28 H29 H30 R元 R2 57人 68人 71人 64人 未発表 人口10万人対率 13.7 16.2 16.7 14.9 未発表	<p>令和2年度の無料対面談事業の相談件数が、数年間継続して増加していることに加え、認知行動療法サポーター養成講座(2回)・ゲートキーパー養成研修(前年度1回から2回に拡大)には定員を上回る応募も見られた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大を受け、若年層や女性の自殺者数に増加が見られている。また、相談や講習へのニーズが増加を受け、悩んでいる方への相談窓口の周知促進を行うべく、リーフレットやカード・ポスター等の作成と配付先の開拓を行った。</p> <p>・自死遺族支援事業は継続実施した。</p> <p>・令和3年度は、既存事業を継続して実施するとともに、2つの新規事業を導入する。①インターネットゲートキーパー事業(Googleで、自殺に関する語句検索をした方に相談窓口を表示、相談につなげる) ②居場所づくりに関するモデル事業(自殺予防対策コーディネーターを配置し、孤立から自殺へと進まないための居場所の調査等を行う)</p>	既存の事業を継続実施するとともに、令和3年度に導入した新事業について、発展させていく。
						○	○	○	○	○	○			

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 保健予防課	本人・家族の相談・訪問支援等 (* )	<こころの健康相談> 精神科嘱託医や職員によるこころの健康に関する相談。	—	①なし ②なし	精神的な問題を抱えた本人や家族を支援し, 生活の質の向上を目指す。							精神科医による相談数(回数) H28 H29 H30 R元 R2 54件 55件 46件 49件 43件 職員による面談や訪問(延数) 1,636件 1,800件 1,549件 1,774件 1,507件 電話相談 7,570件 8,235件 7,529件 7,827件 7,768件	精神科嘱託医や職員によるこころの健康相談を実施し, 関係機関や連携を図りながら本人や家族の支援を行った。支援困難なケースが多く, 安全で迅速な対応ができるよう関係機関等との調整を図り, 体制づくりを行っていく。	継続
保健所 地域保健課	啓発事業 (* )	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。							依頼の健康教育実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 2,298人 2,169人 758人 651人 中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 市民を対象とした健康教育が中止となり, 啓発の機会を確保することができなかった。コロナ禍における啓発の方法や使用媒体, 周知方法について, 引き続き検討を行う。	年間計画に基づいた啓発を実施する。
保健所 地域保健課	妊娠届出受理と母子健康手帳交付事業	妊娠届出受理時, 専門職が面談をして, こころの健康チェックを実施。気分の落ち込みや不安の有無を確認し, 早期に支援を開始する。	庁内関係各課 産科医療機関等	①なし ②なし	妊娠や出産への不安が高い方や, うつ病の疑いのある方に対し, 早期発見・早期支援ができる。							母子健康手帳交付状況 H28 H29 H30 R元 R2 3,315人 3,303人 3,213人 3,257人 3,115人 母子健康手帳交付時の専門職の面談率 47.6% 73.0% 100% 100% 100% H29.10月より, 専門職による全数面接の体制を整えた	・妊娠届出受理時に専門職(保健師, 助産師)による全数面接を実施。書面上では把握出来ない気分の落ち込みや不安の有無等を面談にて確認。要支援家庭を早期に把握し, 必要な支援に繋げた。 ・産科医療機関や精神科医療機関と連携を図り, メンタルヘルスの問題を抱える妊産婦の支援を強化した。	・市内4か所の妊娠子育て相談センター(柏駅前, 柏市役所, ウェルネス柏, 沼南支所)にて, 専門職(保健師, 助産師)による全数面接の継続。 ・周産期におけるメンタルヘルスに関して, 関係機関との連携を強化していく。
保健所 地域保健課	乳児家庭全戸訪問事業	市内の乳児がいる全家庭を訪問。生後3か月までに保健師・助産師が新生児訪問を実施し, 育児支援チェックリスト・産後うつ等の早期発見のスクリーニング指標(EPDS)・赤ちゃんへの気持ち質問票(ボンディング)を用いて, 育児ストレスが高いと思われる方への訪問等の継続支援を実施。	庁内関係各課 医療機関等(産科, 小児科, 精神科等)	①なし ②なし	育児ストレスが高いと思われる方や, 医療の必要な産後うつ病の疑いのある方に対し, 早期発見・早期支援ができる。							乳児家庭全戸訪問事業実施者数 H28 H29 H30 R元 R2 3,006人 3,344人 3,295人 3,182人 3,271人 乳児家庭全戸訪問事業面談率 85.4% 95.7% 95.3% 96.2% 95.6% H28年度より, 妊産婦・新生児訪問とこんにちは赤ちゃん訪問を統合し, 乳児家庭全戸訪問事業を開始した。H29.4~全数訪問としての取り組みを開始。※H27以前は新生児訪問として希望者のみに実施していた。	保健師, 助産師による新生児訪問等において, 産後うつ等こころの問題を抱える産婦を早期発見し, 早期支援に繋げた。・早期の訪問に向け, 産後ケア等他事業との連携を強化し, 出生連絡票提出方法(電子申請など)を検討する。	・市民に対する全数訪問の周知や早期支援の強化継続。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性															
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																		
保健所健康増進課	健康づくり普及啓発事業(※)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							<table border="1"> <tr> <th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>4,869人</td> <td>1,872人</td> <td>2,657人</td> <td>4,973人</td> <td>2,833人</td> </tr> </table>	啓発実施者数(全数)					H28	H29	H30	R元	R2	4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	2,833人	令和2年度は、新型コロナウイルス流行に伴い、例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され、啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に合わせて実施した企画展示にて、休養・こころの健康に関するリーフレットを設置し、啓発を実施した。ストレスチェックについては、リーフレットとセットで配付をした。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、ホームページによる発信の充実を図る。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。
						啓発実施者数(全数)																							
H28	H29	H30	R元	R2																									
4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	2,833人																									
						<table border="1"> <tr> <th colspan="5">啓発実施者数(休養・こころの健康)</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>807人</td> <td>-</td> <td>68人</td> </tr> </table>	啓発実施者数(休養・こころの健康)					-	-	807人	-	68人													
啓発実施者数(休養・こころの健康)																													
-	-	807人	-	68人																									
保健所健康増進課	地域・職域連携推進事業	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							<table border="1"> <tr> <th colspan="5">メール配信登録事業所数</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>27社</td> <td>36社</td> <td>47社</td> <td>60社</td> <td>62社</td> </tr> </table>	メール配信登録事業所数					H28	H29	H30	R元	R2	27社	36社	47社	60社	62社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所向けの健康情報のメール配信は年間11回実施。令和2年度は、栄養や生活習慣病予防等の健康づくりに関する情報の他、新型コロナウイルス感染症の内容も取り入れた。コロナ禍でメール配信の周知機会が減り、登録事業所数があまり増えていないため、令和3年度は機会を捉えて積極的に周知を進めていく。</li> <li>・健(検)診や健康づくり、各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを改訂し、事業所等に配付。令和3年度も内容を見直し作成、配付を行う。</li> <li>・新型コロナの影響で、協議会は1回のみ(書面開催)となり、事業所向け講習会も中止となった。令和3年度の講習会の実施については、柏労働基準協会とも調整を図り実施に向けた検討を進める。</li> </ul>	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法を検討し、関係団体と連携を図りながら取組を推進する。
						メール配信登録事業所数																							
H28	H29	H30	R元	R2																									
27社	36社	47社	60社	62社																									
					<table border="1"> <tr> <th colspan="5">講習会参加事業所数</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>15社</td> <td>29社</td> <td>52社</td> <td>43社</td> <td>中止</td> </tr> </table>	講習会参加事業所数					H28	H29	H30	R元	R2	15社	29社	52社	43社	中止									
講習会参加事業所数																													
H28	H29	H30	R元	R2																									
15社	29社	52社	43社	中止																									



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)					令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期												
学校教育 部 児童生 徒課	不登校児童 生徒の支援 事業	市内の小中学校で, 何らかの要因による不登校状態の児童生徒を対象に行う支援事業。本人の自立を促すとともに, 学びの保障と居場所づくりを目指し, 学習支援や訪問活動等を行っている。	-	①民間の学習塾 (ただし, 長期休業短縮に伴い, 実施については未定) ②なし	不登校児童生徒の減少							きぼうの園・学習相談室入室入級者数					感染症の拡大状況を鑑みながらの活動となったため, 訪問活動は内容も回数も制限された中での実施となった。しかし, 入室入級数は99名となり, 長欠児童生徒の学びの場や家庭以外の居場所として大いに機能を果たすことができた。例年行っているスポーツ交流等の活動もすべて実施できなかったが, 各教室でスポーツやレクを企画し, 仲間と活動する体験を工夫しながら実施した。今後も利用者は増えていくことが考えられるため, 個のニーズに応じて対応ができるよう, 指導員の研修を行う。また, 長欠児童生徒に対する学校からのアプローチが途切れないよう, 研修で周知を図っていきたい。	きぼうの園や学習相談室をはじめ, 関係機関と連携を図り, どこもつながりのない児童生徒数がいなくなるよう努める。					
												H28	H29	H30	R元	R2							
												63人	75人	81人	84人	99人			教育相談件数(電話)				
												2,944件	2,673件	2,785件	3,248件	1,621件			教育相談件数(来室・訪問等)				
												881件	605件	856件	1,273件	946件			教育相談件数(家庭訪問)				
												781件	802件	574件	589件	555件							

4. 喫煙

(1)喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及														
①喫煙率の減少														
②喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合の増加														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増 進課	タバコ対策	柏ノースモッ子作戦協 議会 柏ノースモッ子作戦出 張講座 柏ノースモッ子新聞の 作成・配付 乳幼児保護者向けリー フレット作成	柏市医師会 柏歯科医師会 柏市薬剤師会 タバコ問題を考える 会・千葉 柏商工会議所 柏市私立幼稚園 協会 柏市PTA連絡協 議会 柏市民健康づくり 推進員連絡協議 会 柏市民生委員児 童委員協議会 柏市小中学校校 長会 柏市小中学校養 護教諭会 地域保健課 保育運営課 環境サービス課 学校保健課 少年補導センター	①なし ②なし	禁煙をする市民 が増える 喫煙する市民が 減る 学校の周囲で 喫煙する大人が 減る タバコの害や受 動喫煙について 正しい認識を持 つ市民の増加	○	○	○	○	○	○	出張講座実施校数 H28 H29 H30 R元 R2 14校 11校 12校 16校 5校 サードHANDSモークチラシ配布数 - - 8,197枚 14,214枚 14,195枚 柏ノースモッ子新聞配布数 - - - 21,016枚 22,461枚	令和2年度は、新型コロナウイルス感 染症の影響により、年2回の協議会 は中止し資料提供にて対応した。同じ く、出張講座もコロナ禍のため、5校のみ であった。公立小中高等学校を対象に した3年に1度の全数調査は予定通り実 施し、子どもたちのたばこに対する興味 やタバコ経験率等の経年的な変化の 把握に努め、事務局として協議会委員 への共有を図った。またタバコに関する 知識の普及の一環として平成31年度よ り継続し、子どもを取り巻く大人を対象 とした出張講座の拡大チラシを関係団 体へ配付した。さらに、幼稚園・保育園 並びに小学2年生の保護者向けに 「サードHANDSモーク」に関するチラシ の作成配付を継続して実施した。 令和3年度は、社会状況を踏まえ、協 議会の実施を検討し、相互連携及び情 報共有を図っていく。出張講座の実施 及び出張講座拡大チラシやサードHAND Sモークに関するチラシ及び柏ノース モッ子新聞の配付も継続的に実施し、 周知啓発に努めていく。また、タバコを 吸い始める年齢に近い高校3年生へも リーフレットを配布し、周知を図ってい く。	健康増進計画の目標値 達成に向け、協議会を 開催し相互連携及び情 報共有を図る。 また、利用者が増加傾 向にある新型タバコに関 するエビデンスに基づい た正しい知識の普及を 目指し啓発を強化してい く。
						健康教育・啓発実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 2,298人 2,169人 758人 651人 中止								
						妊娠届出時の周知 - - 1,161人 1,096人 1,070人								
保健所 地域保 健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心と した健康教育や各イベ ントの中で運動、食、タバ コ等健康に関する啓発 および地域支援を実 施。一般市民を対象と し、幅広いテーマにつ いての啓発を行う。  妊娠届出時に妊婦と家 族に対して個別に周知 を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり 推進員 各種団体及び企 業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	健康教育・啓発実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 2,298人 2,169人 758人 651人 中止 妊娠届出時の周知 - - 1,161人 1,096人 1,070人	新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため、市民を対象とした健康教育が中 止となり、啓発の機会を確保すること ができなかった。コロナ禍における啓発 の方法や使用媒体、周知方法について、 引き続き検討を行う。	年間計画に基づいた啓 発を実施する。

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事 業 (※)	イベント等の中で運動、 食、タバコ等健康に関す る啓発を実施。一般市 民を対象とし、幅広い テーマについての啓発 を行う。	庁内関係各課  各種団体及び企 業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。							啓発実施者数(全数)	令和2年度は、新型コロナウイルス流 行に伴い、例年啓発のために参加し ていた市内イベントは中止され、啓発 実施者数が減少している。9月の健康 増進普及月間や10月のがん検診受診 率50%達成に向けた集中キャンペーン 月間に合わせて実施した企画展示に て、たばこに関するリーフレットを設 置し、啓発を実施した。 また、「第一生命」との協定により、第 一生命の顧客へ毎月市で作成した「か しわ健康メッセージ」を配付したり、「モ ラージュ柏」で発行している「モラージュ ママ」を通じて健康情報を発信するこ とができた。 その他に、地域職域と連携し、一般企 業等への健康に関する啓発物品(脂肪 模型等)の貸し出しを開始した。 令和3年度は、引き続き「第一生命」お よび「モラージュ柏」と連携し、健康情 報を広く周知、啓発していく予定。また、 ホームページによる発信の充実を図 る。	健康増進計画の目標値 達成に近づける内容の 啓発を行っていく。					
												H28			H29	H30	R元	R2	
												4,869人			1,872人	2,657人	4,973人		中止
												※H29年度～ 柏市民健康づくり推進員活動については別掲							
												啓発実施者数(喫煙)							
												900人			1,450人	1,047人	2,224人		中止
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業(*)	柏地域・職域連携推進 協議会 事業所向けの健康情報 等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督 署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産 業保健センター 全国健康保険協 会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②なし	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進  社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加							メール配信登録事業所数	・事業所向けの健康情報のメール配信 は年間11回実施。令和2年度は、栄養 や生活習慣病予防等の健康づくりに関 する情報の他、新型コロナウイルス感 染症の内容も取り入れた。コロナ禍で メール配信の周知機会が減り、登録事 業所数があまり増えていないため、令 和3年度は機会を捉えて積極的に周知 を進めていく。 ・健(検)診や健康づくり、各種相談窓 口の情報をまとめたリーフレットを改訂 し、事業所等に配付。令和3年度も内 容を見直し作成、配付を行う。 ・新型コロナの影響で、協議会は1回 のみ(書面開催)となり、事業所向け講 習会も中止となった。令和3年度の講 習会の実施については、柏労働基準協 会とも調整を図り実施に向けた検討を 進める。	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの推 進につながる配信内 容、啓発方法を検討し、 関係団体と連携を図りな がら取組を推進する。					
												27社			36社	47社	60社	62社	
												講習会参加事業所数							
												15社			29社	52社	43社	中止	

(2)受動喫煙の防止														
③受動喫煙の機会を有する人の割合の減少														
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と考 察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	49	高齢期			
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※) 受動喫煙対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進法に基づく指 導等及び同法の周知啓 発</li> <li>柏ノースモツ子作戦協 議会</li> <li>柏ノースモツ子作戦出 張講座</li> <li>柏ノースモツ子新聞の 作成・配付</li> <li>乳幼児保護者向け リーフレットの作成, 配 布</li> <li>受動喫煙防止キャン ペーン</li> <li>おいでよ! カシワニ禁 煙ステッカー等配付事 業</li> </ul>	柏市医師会 柏歯科医師会 柏市薬剤師会 タバコ問題を考え る会・千葉 柏商工会議所 柏市私立幼稚園 協会 柏市PTA連絡協 議会 柏市民健康づくり 推進員連絡協議 会 柏市民生委員児 童委員協議会 柏市小中学校校 長会 柏市小中学校養 護教諭会 地域保健課 保育運営課 環境サービス課 学校保健課 少年補導センター 千葉県	①なし ②なし	受動喫煙による 健康被害の減 少	○	○	○	○	###	○	禁煙分煙ありがとう店登録店 H28 H29 H30 R元 R2 64店 65店 51店 50店 - おいでよ! カシワニ禁煙ステッカー登録店 - - - - -	令和2年4月より全国に施行された改正 健康増進法の施行により「禁煙分煙あ りがとう店登録制度」及び「たばこの煙 困りましたカード」の設置を廃止。法改 正に伴い, 令和2年度は喫煙可能店の 届出対応及び事業所からの問い合わせ や市民からの苦情対応をメインに実 施。 世界禁煙デーには, 市内の鉄道及び スーパーマーケットを中心に禁煙を呼 びかけるポスター全100枚の掲示依頼 を行った。受動喫煙防止キャンペーンと しては, ティッシュ2000個を市内公立高 校に配付, カイロ1700個を調理師会を 通じて各飲食店組合へ配付することで 周知を図った。 令和3年度は, 市内飲食店や事業所等 での受動喫煙防止の徹底及び定着を 目的に引き続き事業所及び市民の問 い合わせに対応していく。世界禁煙 デー及び受動喫煙防止キャンペーンに 合わせ効果的な啓発を実施していく。 また, タバコを吸い始める年齢に近い 高校生向けに, 受動喫煙に関するリー フレットを配布していく。 さらに, 令和3年度は「禁煙・分煙ありが とう店」事業の廃止に伴い, 「おいで よ! カシワニ禁煙ステッカー等配付事 業」を開始。市民が安心して禁煙の店 舗を利用するための選択肢を広げるこ とを目指し, 事業所及び市民への周知 を図っていく。	法改正の趣旨に基づ き, 適正な運用ができて いない事業所への助言 や指導を継続し, 受動 喫煙防止を推進してい く。また, 法に定められ た配慮義務を周知して いくことで, 望まない受 動喫煙を減少させてい く。
						○	○	○	○	○	○	依頼の健康教育実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 2,298人 2,169人 758人 651人 中止 幼児健診での周知 - - 2,255人 2,049人 2,219人	新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため, 市民を対象とした健康教育が中 止となり, 啓発の機会を確保することが できなかった。コロナ禍における啓発の 方法や使用媒体, 周知方法について, 引き続き検討を行う。	年間計画に基づいた啓 発を実施する。
保健所 地域保 健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心と した健康教育や各イベ ントの中で運動, 食, タバ コ等健康に関する啓発 および地域支援を実 施。一般市民を対象と し, 幅広いテーマについ ての啓発を行う。  幼児健診にて保護者に 対し, 個別に周知を行 う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり 推進員 各種団体及び企 業関係	①なし ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをする ことで, 健康に関 する気づきの場を 作る。	○	○	○	○	○				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性																																													
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																																
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事 業 (*)	イベント、健康教育の中 で運動、食、タバコ等健 康に関する啓発を実 施。一般市民を対象と し、幅広いテーマについ ての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企 業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。	○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>4,869人</td> <td>1,872人</td> <td>2,657人</td> <td>4,973人</td> <td>2,833人</td> </tr> </table> <p>※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">啓発実施者数(喫煙)</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>900人</td> <td>1,450人</td> <td>1,047人</td> <td>2,224人</td> <td>373人</td> </tr> </table> <p>※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活 動を含む</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>95人</td> <td>38人</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>※H30年度～健康増進課として計上</p>	啓発実施者数(全数)					H28	H29	H30	R元	R2	4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	2,833人	啓発実施者数(喫煙)					H28	H29	H30	R元	R2	900人	1,450人	1,047人	2,224人	373人	依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)					H28	H29	H30	R元	R2	-	-	95人	38人	中止	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス流 行に伴い、例年啓発のために参加し ていた市内イベントは中止され、啓発 実施者数が減少している。9月の健康 増進普及月間や10月のがん検診受診 率50%達成に向けた集中キャンペーン 月間似合わせて実施した企画展示に て、たばこに関するリーフレットを設 置し、啓発を実施した。 また、「第一生命」との協定により、第 一生命の顧客へ毎月市で作成した「か しわ健康メッセージ」を配付したり、「モ ラージュ柏」で発行している「モラージュ ママ」を通じて健康情報を発信するこ とができた。 その他に、地域職域と連携し、一般企 業等への健康に関する啓発物品(脂肪 模型等)の貸し出しを開始した。 令和3年度は、引き続き「第一生命」お よび「モラージュ柏」と連携し、健康情 報を広く周知、啓発していく予定。また、 ホームページによる発信の充実を図 る。</p>	健康増進計画の目標値 達成に近づける内容の 啓発を行っていく。
						啓発実施者数(全数)																																																					
H28	H29	H30	R元	R2																																																							
4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	2,833人																																																							
啓発実施者数(喫煙)																																																											
H28	H29	H30	R元	R2																																																							
900人	1,450人	1,047人	2,224人	373人																																																							
依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)																																																											
H28	H29	H30	R元	R2																																																							
-	-	95人	38人	中止																																																							
○	○	○	○	○	○	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">メール配信登録事業所数</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>27社</td> <td>36社</td> <td>47社</td> <td>60社</td> <td>62社</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">講習会参加事業所数</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>15社</td> <td>29社</td> <td>52社</td> <td>43社</td> <td>中止</td> </tr> </table>	メール配信登録事業所数					H28	H29	H30	R元	R2	27社	36社	47社	60社	62社	講習会参加事業所数					H28	H29	H30	R元	R2	15社	29社	52社	43社	中止	<p>働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの推 進につながる配信内 容、啓発方法を検討し、 関係団体と連携を図りな がら取組を推進する。</p>																						
メール配信登録事業所数																																																											
H28	H29	H30	R元	R2																																																							
27社	36社	47社	60社	62社																																																							
講習会参加事業所数																																																											
H28	H29	H30	R元	R2																																																							
15社	29社	52社	43社	中止																																																							
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業(*)	柏地域・職域連携推進 協議会 事業所向けの健康情報 等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督 署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産 業保健センター 全国健康保険協 会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに 取組む事業所 (3社) ②なし	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進  社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加	○	○	△	<p>・事業所向けの健康情報のメール配信 は年間11回実施。令和2年度は、栄養 や生活習慣病予防等の健康づくりに関 する情報の他、新型コロナウイルス感 染症の内容も取り入れた。コロナ禍で メール配信の周知機会が減り、登録事 業所数があまり増えていないため、令 和3年度は機会を捉えて積極的に周知 を進めていく。 ・健(検)診や健康づくり、各種相談窓口 の情報をまとめたリーフレットを改訂 し、事業所等に配付。令和3年度も内容 を見直し作成、配付を行う。 ・新型コロナの影響で、協議会は1回の み(書面開催)となり、事業所向け講習 会も中止となった。令和3年度の講習 会の実施については、柏労働基準協会 とも調整を図り実施に向けた検討を進 める。</p>	働く世代の健康づくり、 職場での健康づくりの推 進につながる配信内 容、啓発方法を検討し、 関係団体と連携を図りな がら取組を推進する。																																																	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
環境部 環境 サービス課	ぼい捨て等 防止事業	啓発看板・路面シール・横断幕の設置等の啓発を行い、路上喫煙等防止を推進し、ぼい捨てごみを減少させる。	防災安全課	①なし ②なし	ぼい捨てごみ、路上喫煙・歩行喫煙者の減少。							過料徴収件数 H28 H29 H30 R元 R2 155件 108件 294件 372件 338件	通常の定期パトロールのほか市民からの苦情や違反者からの情報提供に応じて、該当する箇所の巡回を、例えば30分以上同じ場所に滞在し、違反者の監視・指導を行う等、コースや滞在時間の工夫を行い、粘り強い対応を行っている。 他に、啓発として、看板の設置、路面シール(新規30枚、貼替23枚)の設置を行うとともに、令和2年12月からは、南口のデジタルサイネージでも、メッセージを夕方17時から23時まで、12回流すこととした。 令和3年度の取組みとしては、限られた時間や予算の範囲内ではあるが、土日パトロールの試行を行う。	引き続き、喫煙者の方には、マナーの理解を求めていくとともに、周知については、指導員の存在を知らせる視覚効果対策や、駅前デジタルサイネージでのPR放映、また、健康増進法に基づく受動喫煙防止の注意喚起ポスターの掲示等を関連部署と連携して行う事も検討していく。

(3)禁煙の支援

④禁煙達成率

⑤成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増進課	タバコ対策 (※)	・禁煙外来実施医療機関の周知 ・柏市国保特定健診受診者へ啓発 ・禁煙支援薬局登録店の周知	柏市医師会 保険年金課 柏市薬剤師会	①なし ②なし	・禁煙する市民が増える  ・身近な医療機関で保険による禁煙指導が受けられることを知ることができる							禁煙支援薬局登録店 H28 H29 H30 R元 R2 25件 34件 33件 25件 25件 市内禁煙外来実施医療機関数 29件 29件 31件 35件 38件	禁煙外来及び禁煙支援薬局についてはHP上で公開するとともに禁煙支援マップを作成し周知啓発を図っている。禁煙支援薬局は、禁煙外来に受診する前に、気軽に相談できる場として平成28年より薬剤師会を通じた登録制度として実施している。 柏市国保特定健診受診者に配付する情報提供紙「かしわ健康づくり通信」には、市内禁煙外来一覧を掲載。令和3年度も継続し、引き続き周知を行う。また「禁煙サポートかしわ」のリニューアルを行い、喫煙者への禁煙支援を引き続き実施していく。	禁煙を希望している喫煙者がスムーズに禁煙できるような支援及び環境整備を継続して実施していく。

(4) 未成年者の喫煙防止																
⑥ 喫煙経験率																
⑦ 喫煙願望率																
⑧ 周囲で喫煙する大人の存在率																
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考 察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性		
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
保健所 健康増 進課	タバコ対策 (※)	・柏ノースモツ子作戦出張講座実施 ・柏ノースモツ子新聞発行 ・小中学校タバコに関するアンケート ・乳幼児保護者向けリーフレットの作成、配布	・柏市薬剤師会 ・タバコ問題を考える会・千葉 ・市立小中学校 ・柏市私立幼稚園協会 ・学校保健課 ・保育運営課 ・地域保健課	①なし ②なし	・小中学生の喫煙経験率が減る ・小中学生の「タバコがかっこいいと思う」割合が減る ・タバコの害について正しく知ることができる ・タバコの害について正しく知る大人が増える ・禁煙する大人が増える	○	○	○	○	○	○	出張講座実施校数 H28 H29 H30 R元 R2 14校 11校 12校 16校 5校 周囲で喫煙する大人の存在率(小学6年生) - 62.8% - - 55.6% 周囲で喫煙する大人の存在率(中学3年生) - 58.1% - - 50.9% ※市内全校アンケート(追跡調査につき3年に1度の実施)結果	令和元年度から大人向けにも事業の拡大を図った出張講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により申し込みはなかった。小中学校向けの出張講座も同様に、市内では5校のみの実施にとどまった。小学生へは、サードハンドスモークのチラシ及び柏ノースモツ子新聞の配付を継続。サードハンドスモークチラシについては地域保健課と連携し、妊娠届出時や乳幼児健診の際の配付を行った。3年に1回の全数調査(小6、中3、高3)では、子どもたちのたばこに関する興味やたばこ経験率等の経年的な変化を把握し、事務局として協議会への共有を図った。周囲で喫煙する大人の存在率は、小6・中3とも3年前に比べて低下しており、協議会での活動及び改正法に関する周知の意義はあったと考える。令和3年度は上記に加え、タバコを吸い始める年齢に近い高校3年生へも受動喫煙に関するリーフレットの配布を行っていく。	引き続き、子どもたちの喫煙経験率及び願望率を下げよう、協議会で連携をしながら事業内容の充実を図っていく。		
						○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 4,869人 1,872人 2,657人 4,973人 2,833人 ※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む 啓発実施者数(喫煙) 900人 1,450人 1,047人 2,224人 373人 ※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む 依頼の健康教育参加者数(保健師) - - 95人 38人 中止 ※H30年度～健康増進課として計上	令和2年度は、新型コロナウイルス流行に伴い、例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され、啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に合わせて実施した企画展示にて、たばこに関するリーフレットを設置し、啓発を実施した。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、ホームページによる発信の充実を図る。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。		
保健所 健康増 進課	健康づくり 普及啓発事 業 (*)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5. 飲酒

(1) 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及																													
①「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率の増加																													
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性															
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																		
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	地域サロン等を中心とした健康教育や各イベントの中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発および地域支援を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							健康教育・啓発実施者数(全数)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民を対象とした健康教育が中止となり、啓発の機会を確保することができなかった。コロナ禍における啓発の方法や使用媒体、周知方法について、引き続き検討を行う。	年間計画に基づいた啓発を実施する。															
												H28			H29	H30	R元	R2	2,298人	2,169人	758人	651人	中止						
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	令和2年度は、新型コロナウイルス流行に伴い、例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され、啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に合わせて実施した企画展示にて、身体活動・運動に関するリーフレットを設置し、啓発を実施した。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、ホームページによる発信の充実を図る。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。															
												H28			H29	H30	R元	R2	4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	2,833人						
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(飲酒)																	
												1,200人			800人	-	400人	129人	※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む										
						依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)														H28	H29	H30	R元	R2	-	-	95人	38人	中止
						※H30年度～健康増進課として計上																							



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増進課	地域・職域 連携推進事業(*)	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							メール配信登録事業所数	・事業所向けの健康情報のメール配信は年間11回実施。令和2年度は、栄養や生活習慣病予防等の健康づくりに関する情報の他、新型コロナウイルス感染症の内容も取り入れた。コロナ禍でメール配信の周知機会が減り、登録事業所数があまり増えていないため、令和3年度は機会を捉えて積極的に周知を進めていく。 ・健(検)診や健康づくり、各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを改訂し、事業所等に配付。令和3年度も内容を見直し作成、配付を行う。 ・新型コロナウイルスの影響で、協議会は1回のみ(書面開催)となり、事業所向け講習会も中止となった。令和3年度の講習会の実施については、柏労働基準協会とも調整を図り実施に向けた検討を進める。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法を検討し、関係団体と連携を図りながら取組を推進する。
												H28 H29 H30 R元 R2		
												27社 36社 47社 60社 62社		
												講習会参加事業所数		
						15社 29社 52社 43社 中止								

(2)健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止

②毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少

③妊婦の飲酒率の減少

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 保健予防課	本人・家族 の相談・訪問支援等 (※)	〈アルコール相談〉 精神科医師や職員によるアルコールに関する相談。 〈アルコール家族教室〉 アルコール問題を抱える家族を対象に、講義やミーティングをとおして依存症の理解を図り、家族の健康度を高める。 〈酒害教室〉 アルコール依存者や家族を対象に、ミーティングを通して、酒害や自助グループの効果を学び、アルコール依存からの回復を図る。 〈HAPPYプログラム〉 アルコール減酒のためのプログラムを実施し、適正飲酒を目指す。	柏断酒新生会	①なし ②なし	より多くの市民がアルコール依存症や関連問題について学習し、依存症や家族の回復を図ることができる。							アルコール相談 精神科医による相談延数	アルコール関連の問題は本人だけでなく周囲への影響も大きく、早期介入が望ましい。アルコール問題早期介入として、個別と集団で減酒プログラム「HAPPYプログラム」を実施し、そのフォローアップも実施。 新型コロナウイルス感染症の影響によりアルコール教室等の運営を一時中止した。教室が休みの間、通信等啓発を継続し周知に努めた。 令和3年度と同様に減酒プログラムを実施する。アルコール家族教室はアルコール専門病院との連携プログラムを実施する。	継続
												H28 H29 H30 R元 R2		
												12件 12件 14件 15件 7件		
												アルコール相談 職員による面談や訪問延数		
												228件 191件 135件 112件 104件		
												アルコール家族教室 参加者延数		
												79人 110人 69人 78人 18人		
												酒害教室参加者延数		
												181人 200人 183人 167人 45人		
												HAPPYプログラム(減酒プログラム) 参加者延数		
						33人 27人 31人 23人 39人								

(3) 未成年者の飲酒防止																					
(4) 未成年者の飲酒経験率の減少																					
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性							
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント, 健康教育等の中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)					令和2年度は, 新型コロナウイルス流行に伴い, 例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され, 啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に合わせて実施した企画展示にて, 飲酒に関するリーフレットを設置し, 啓発を実施した。また, 「第一生命」との協定により, 第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり, 「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に, 地域職域と連携し, 一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は, 引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し, 健康情報を広く周知, 啓発していく予定。また, ホームページによる発信の充実を図る。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。			
														H28	H29	H30			R元	R2	
															4,869人	1,872人			2,657人	4,973人	2,833人
															※H28年度までは, 柏市民健康づくり推進員の活動を含む						
															啓発実施者数(飲酒)						
															1,200人	800人			-	400人	129人
															※H28年度までは, 柏市民健康づくり推進員の活動を含む						
															依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)						
															H28	H29			H30	R元	R2
															-	-			95人	38人	中止
									※H30年度~健康増進課として計上												

## 6. 歯・口腔の健康

(1) 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及																					
① 3歳児でむし歯がない人の割合の増加																					
② 12歳児のDMF歯数の減少																					
③ 歯肉炎を有する(歯周疾患要観察者を含む)人の割合の減少																					
④ 40歳で喪失歯のない人の割合の増加																					
⑤ 進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合の減少																					
⑥ 60歳代における咀嚼良好者の割合の増加																					
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性							
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期										
保健所 地域保 健課	子育て支援 事業 (母と子のつ どい、8か月 児相談)	<p>&lt;母と子のつどい&gt; 妊婦、1歳6か月児くらい までの乳幼児と保護者を 対象に、市内20地域で実 施</p> <p>&lt;8か月児相談&gt; 8か月児の乳児へ個別案 内にて実施。各専門職が グループワークや個別相 談を行う。</p> <p>内容: 歯・口腔に関する ワンポイント啓発、歯科 相談</p>	<母と子のつ どい> 柏市民健康づ くり推進員	①なし ②なし	・甘味食品や飲 料を習慣化する 児の割合の減 少 ・歯みがき(仕上 みがき)の習慣 化 ・かかりつけ歯 科医を持っている 割合の増加	○				△	つどい参加者数(歯科の回のみ)					新型コロナウイルス感染拡大防止の ため、地域での啓発活動(「母と子の つどい」)については、中止となった。 対応として、「駅前すこやかプチルー ム」において予約制で個別相談を実 施した。 歯科に関して心配がない方や、ママ パパで来所した夫婦の方へも啓発が 出来た。 「8か月児相談」についても、中止の 期間もあったが再開時は感染対策を 行い実施。 乳幼児期からの「家族ぐるみのお口 の健康」と「かかりつけ歯科の推進」 について啓発する。	乳幼児期から、家族 ぐるみで口腔の健康 に意識が持てる様情 報提供する				
											H28	H29	H30	R元	R2			5,762人	5,473人	213人	86人
											8か月児相談参加者数										
											H28	H29	H30	R元	R2	-	-	2,231人	2,085人	860人	
											※H30より、母と子のつどいの実施主体が柏 市民健康づくり推進員となり歯・口腔の健康に ついては、地域からの依頼に応じて対応。										
保健所 地域保 健課	2歳の歯☆ ピカランド及 びフッ化物歯 面塗布事業	<p>&lt;歯☆ピカ&gt; 2歳児の親子を対象に食 生活を含むむし歯予防 の啓発及び歯みがき指 導</p> <p>&lt;フッ化物&gt; 2.6歳対象に医療機関に てフッ化物歯面塗布によ るむし歯予防事業(無料 受診券全対象者郵送)</p>	柏歯科医師 会 柏市医師会	①なし ②なし	・フッ化物配合 歯みがき剤の利 用率の増加 ・かかりつけ歯 科医を持つ者の 増加 ・定期健診を受 ける者の増加	○				△	3歳児健診受診状況					「2歳の歯☆ピカランド」については、 新型コロナウイルス感染拡大防止に よる中止の期間については、ホーム ページにて啓発を行った。再開時は、 感染対策を行い個別相談会として実 施。 「新型コロナによる受診控え」の声も あり、引き続き「定期健診の大切さ」 を伝える。 ・フッ化物歯面塗布事業については、 コロナ禍でも継続実施をしていたが 4、5月は受診率が20%を下回り、受 診控えが見られた。10月対象者より、 案内ハガキに医療機関名簿を掲載し て案内を実施し、少し受診率は増え たが50%は超えられなかった。 引き続き、幼児健診、他事業の中で 「かかりつけ歯科の推進」、「フッ化物 の効果的活用」について啓発を行う。	引き続き切れ目のな い歯・口腔の健康づ くり支援を行い情報提 供する				
											H28	H29	H30	R元	R2			3,674人	3,535人	3,851人	3,743人
											対象者数										
											歯科受診者数										
											3,313人	3,221人	3,453人	3,325人	3,463人						
											健歯者率										
											83.7%	85.4%	86.9%	88.2%	87.2%						

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性																										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																													
保健所 地域保健課	母子歯科保健事業「歯っぴいかむかむかしわっ子作戦！！」	<p>&lt;地域における依頼の健康教育&gt; 子育て支援センター、地域サロンにおいて、「育児講座」として地域の乳幼児をもつ保護者を対象にむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 &lt;幼稚園・保育園等での歯みがき指導&gt; 保育園、幼稚園の園児を対象に食生活を含むむし歯予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯予防の啓発を実施</p>	<p>保育運営課 公立保育園 私立保育園 私立幼稚園 柏歯科医師会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・歯みがき(仕上げがき)の習慣化 ・かかりつけ歯科医を持つ者の増加 ・定期健診を受ける者の増加</p>	○						<p>△</p>	<p>依頼の健康教育(母子)実施件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>9件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>260人</td> <td>97人</td> <td>124人</td> <td>0人</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>巡回歯みがき指導実施園数</p> <table border="1"> <tr> <td>40園</td> <td>41園</td> <td>47園</td> <td>30園</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>巡回歯みがき指導実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>2,822人</td> <td>2,553人</td> <td>2,696人</td> <td>1,573人</td> <td>中止</td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R元	R2	9件	5件	4件	0件	中止	260人	97人	124人	0人	中止	40園	41園	47園	30園	中止	2,822人	2,553人	2,696人	1,573人	中止	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、依頼の健康教育(地域での啓発活動)については中止となった。必要に応じ「駅前すこやかプチルーム」を案内し、個別相談を実施した。引き続き、「駅前すこやかプチルーム」において個別相談の対応を行う。</p>	<p>・市内の園児へ広く情報提供が出来るようにする ・引き続き、依頼の健康教育を実施しつつ、指導者育成のための取り組みも行う。</p>
		H28	H29	H30	R元	R2																																		
9件	5件	4件	0件	中止																																				
260人	97人	124人	0人	中止																																				
40園	41園	47園	30園	中止																																				
2,822人	2,553人	2,696人	1,573人	中止																																				
		<p>小学校、中学校の児童、生徒を対象に食生活を含まむし歯、歯周病予防の啓発及び歯みがき指導 依頼に応じて、保護者へもむし歯、歯周病予防の啓発を実施</p>	<p>学校保健課 小学校 中学校 柏歯科医師会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>・給食後の歯みがき習慣の徹底 ・食後の歯みがき習慣の徹底 ・フッ化物配合歯みがき剤の利用率の増加 ・定期健診を受ける者の増加</p>	○						<p>△</p>	<p>実施校数(他学年の依頼校)</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>31校</td> <td>31校</td> <td>32校</td> <td>26校</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>他学年依頼の健康教育実施者数</p> <table border="1"> <tr> <td>2,619人</td> <td>2,774人</td> <td>2,917人</td> <td>2,209人</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>12歳児の健歯者率</p> <table border="1"> <tr> <td>59.4%</td> <td>65.8%</td> <td>64.1%</td> <td>66.1%</td> <td>68.0%</td> </tr> </table> <p>12歳児のDMF歯数</p> <table border="1"> <tr> <td>0.99本</td> <td>0.71本</td> <td>0.89本</td> <td>0.63本</td> <td>0.69本</td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R元	R2	31校	31校	32校	26校	中止	2,619人	2,774人	2,917人	2,209人	中止	59.4%	65.8%	64.1%	66.1%	68.0%	0.99本	0.71本	0.89本	0.63本	0.69本	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校1年生、他学年の歯みがき指導は中止となった。6月、11月の歯の健康月間に合わせて啓発リーフを作成し「フッ化物の効果的活用」について啓発した。引き続き令和3年度は、「定期歯科健診の推進」について啓発リーフを作成し配布する。今後の課題については、むし歯の罹患率は減少しているが、特に高学年において歯肉炎の増加がみられるため、定期健診をうながす。</p>	<p>・引き続き、学校、学校歯科医、児童、生徒、保護者に対し、保健所より適切な情報発信を行い、歯・口腔の健康づくりの意識が高められるようにする ・課題に合わせて、ターゲットにむけた啓発を強化する。</p>
H28	H29	H30	R元	R2																																				
31校	31校	32校	26校	中止																																				
2,619人	2,774人	2,917人	2,209人	中止																																				
59.4%	65.8%	64.1%	66.1%	68.0%																																				
0.99本	0.71本	0.89本	0.63本	0.69本																																				
保健所 地域保健課	啓発事業(※)	<p>イベント等の中で運動、食、タバコ、歯・口腔等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。</p>					55	○	<p>啓発実施者数(全数)</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>4,869人</td> <td>3,979人</td> <td>3,705人</td> <td>3,014人</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>啓発実施者数(歯・口腔の健康)</p> <table border="1"> <tr> <td>2,156人</td> <td>952人</td> <td>146人</td> <td>450人</td> <td>中止</td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R元	R2	4,869人	3,979人	3,705人	3,014人	中止	2,156人	952人	146人	450人	中止	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民を対象とした地域健康講座や健康教育、地域行事が中止となり、啓発の機会を確保することができなかった。推進員活動においては、今後の啓発事業に繋がるよう、内部研修を実施している。コロナ禍における啓発の方法や使用媒体について、引き続き検討を行う。</p>	<p>令和元年度以前と同様に、地域健康講座や健康教育等による啓発を実施し、地域における健康づくりを推進する。</p>											
H28	H29	H30	R元	R2																																				
4,869人	3,979人	3,705人	3,014人	中止																																				
2,156人	952人	146人	450人	中止																																				

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性																																							
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																																										
保健所 健康増 進課	健康づくり普 及啓発事業 (※)	イベント、健康教育等 の中で運動、食、タバコ等健 康に関する啓発を実施。 一般市民を対象とし、幅 広いテーマについての啓 発を行う。	庁内関係各 課  各種団体及び 企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフ ステージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。							<table border="1"> <tr> <th colspan="5">啓発実施者数(全数)</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>4,869人</td> <td>1,872人</td> <td>2,657人</td> <td>4,973人</td> <td>2,833人</td> </tr> </table> <p>※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動 を含む</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">啓発実施者数(歯・口腔の健康)</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>2,156人</td> <td>350人</td> <td>515人</td> <td>944人</td> <td>245人</td> </tr> </table> <p>※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動 を含む</p> <p>依頼の健康教育参加者数(講師:歯科衛生士)</p> <table border="1"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>45人</td> <td>25人</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>※H30年度～健康増進課として計上</p>	啓発実施者数(全数)					H28	H29	H30	R元	R2	4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	2,833人	啓発実施者数(歯・口腔の健康)					H28	H29	H30	R元	R2	2,156人	350人	515人	944人	245人	H28	H29	H30	R元	R2	-	-	45人	25人	中止	健康増進計画の目標 値達成に近づける内 容の啓発を行ってい く。
						啓発実施者数(全数)																																															
H28	H29	H30	R元	R2																																																	
4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	2,833人																																																	
啓発実施者数(歯・口腔の健康)																																																					
H28	H29	H30	R元	R2																																																	
2,156人	350人	515人	944人	245人																																																	
H28	H29	H30	R元	R2																																																	
-	-	45人	25人	中止																																																	
保健所 健康増 進課	地域・職域 連携推進事 業(*)	柏地域・職域連携推進協 議会 事業所向けの健康情報 等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準 監督署 柏労働基準 協会 柏商工会議 所 柏市沼南商 工会 代表企業(2 社) 東葛北部地 域産業保健セ ンター 全国健康保 険協会千葉 支部 柏市医師会 柏歯科医師 会	①健康づくりに 取り組む事業所 (3社) ②なし	働く世代の生活 習慣病予防とこ ころの健康づく りの推進  社員の健康づく りに積極的に取 り組む事業所の 増加							<table border="1"> <tr> <th colspan="5">メール配信登録事業所数</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>27社</td> <td>36社</td> <td>47社</td> <td>60社</td> <td>62社</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">講習会参加事業所数</th> </tr> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>15社</td> <td>29社</td> <td>52社</td> <td>43社</td> <td>中止</td> </tr> </table>	メール配信登録事業所数					H28	H29	H30	R元	R2	27社	36社	47社	60社	62社	講習会参加事業所数					H28	H29	H30	R元	R2	15社	29社	52社	43社	中止	働く世代の健康づく り、職場での健康づく りの推進につながる 配信内容、啓発方法 を検討し、関係団体と 連携を図りながら取 組を推進する。										
						メール配信登録事業所数																																															
H28	H29	H30	R元	R2																																																	
27社	36社	47社	60社	62社																																																	
講習会参加事業所数																																																					
H28	H29	H30	R元	R2																																																	
15社	29社	52社	43社	中止																																																	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性																									
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期																												
学校教育 部 学校保 健課	健康診断事 業	<p>&lt;定期歯科健診&gt; 学校医による、全校児童 生徒のう歯・歯肉・歯列 等の健診</p> <p>&lt;歯みがき指導&gt; 保健所歯科衛生士によ る全小学校1年生を対象 とした歯みがき指導(学 校保健課で日程・人数調 整)</p>	学校歯科医  保健所	①なし ②なし	12歳児のDMF 歯数の減少  歯肉炎を有する 人の割合の減 少							<p>令和2年度は新型コロナウイルス感 染症の影響により、保健所歯科衛生 士による全小学校1年生を対象とし た、歯みがき指導が中止となった。 各学校で取り組んでいる歯科保健指 導についても中止や縮小を余儀なく されたが、一部の学校では、従来学 校の歯科保健指導で行っていた、カ ラーテスターを使った歯の汚れの検 出を家庭に依頼し、結果を家庭と学 校とで共有する等、工夫を凝らした取 り組みを行った(8/63校)。 また、食後の歯みがきについて、飛 沫飛散を懸念する報道があったが、 飛沫に配慮し、安全に歯みがきを行 う方法について、柏歯科医師会から ポスターが提供され、学校歯科医の 指導の下、安全に食後の歯みがきを 継続することができた。 令和3年度は、歯科保健指導が活発 な学校の取組等を全校で共有し、各 校の歯科保健指導の活性化を図る。</p>	<p>柏歯科医師会が策定 した学校歯科医マ ニュアルに基づき、定 期健康診断を実施す る。また、今後も感染 防止対策を講じた上 で、可能な限り歯科 保健活動が実践でき るよう、また、集団指 導にとらわれない保 健指導ができるよう、 学校保健関係教職員 の研修会等で広く呼 びかけていく。</p>																										
														定期歯科健診状況					H28	H29	H30	R元	R2	受診者数					3,268人	3,244人	3,171人	3,219人	3,302人	12歳児のDMF歯数					0.99本
保健所 健康増 進課	歯周病検診 事業	対象者(満30, 40, 50, 60 歳)に個人通知を行い、 委託医療機関にて歯周 ポケット測定等の歯周病 検診を実施する。	柏歯科医師 会	①なし ②なし	30・40歳におけ る喪失歯のない 人の割合増加  30・40歳の進行 した歯肉炎を有 する人の割合減 少							<p>受診券にナッジ理論を活用したことで 受診率が約2倍に増加した。かかりつ け歯科医を持つこと、また定期健診 のきっかけづくりとしての役割は果た すことができた。令和3年度もナッジ 理論の掲載内容を見直し、さらに無 関心層に働きかけられるよう工夫をし た受診券を作成し、発送している。 無関心層への環境整備の一環とし て、歯や口の健康づくりに関する情 報を提供するため、美容院や道の駅 等、不特定多数のかたが利用する施 設に協力を仰ぎ、啓発媒体の設置を 進める。</p>	<p>若い世代からのむし 歯及び歯周病予防を 推進するための環境 整備の推進を図る。</p>																										
														喪失歯のない人の割合(30歳)					H28	H29	H30	R元	R2	喪失歯のない人の割合(40歳)					75.2%	73.2%	91.7%	91.3%	91.7%	進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人 の割合(30歳)					57.3%

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健福祉部 地域医療推進課	訪問口腔衛生指導事業 補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問口腔衛生指導の実施</li> <li>・医療機関(病院・歯科医院等)との連絡調整</li> <li>・一般市民への啓発事業</li> <li>・地域包括支援センター、介護保険事業者等の従事者説明及び講演会の実施等への補助事業</li> </ul>	柏歯科医師会	①なし ②なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅療養者が治療及び口腔ケアを受けることにより、口腔機能を維持し、生活の質の向上を図る。</li> <li>・市民が、在宅療養状態になっても、安心して歯科治療を受けることができる環境整備。</li> </ul>							訪問口腔衛生指導(訪問口腔ケア)を実施した方の口腔機能向上  H28   H29   H30   R元   R2 80%   75%   80%   90%   82%	器質的口腔ケアの実施により、口腔内の疾病改善、誤嚥性肺炎の予防につながった。機能的口腔ケア(摂食嚥下リハビリ)により、会話や表情、食欲等のQOL向上につながっている。R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問自粛やケアの自粛があり、前年度よりも情報提供量が低下した。	多職種連携の中で、訪問口腔衛生指導事業の推進を図る。

(2) 定期的な歯科健康診査の受診勧奨																		
⑦ 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)の増加																		
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健福祉部 地域医療推進課	特殊歯科診療事業支援事業	一般的な診療が難しい障害児・者、高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営に対し補助金を交付	柏市医療公社 柏歯科医師会	①なし ②なし	一般診療が難しい方本人及び家族の負担軽減。生活の質向上	○	○	○	○	○	○	患者数					新型コロナウイルス感染症の影響のため、4/10～5/31の期間で診療制限(予約制限)を実施、その後は感染防止対策を徹底した上で診療を継続している。令和3年度も引き続き、感染防止対策を講じながら診療を行う。	必要な方が適切な医療が受けられる体制を確保していく。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												4,194人	4,049人	4,233人	4,080人	3,139人		
保健所健康増進課	歯周病検診事業(※)	対象者(満30, 40, 50, 60歳)に個人通知を行い、委託医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周病検診を実施する。	柏歯科医師会	①なし ②なし	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合増加	△	△	○	○	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)					受診券にナッジ理論を活用したことで受診率が約2倍に増加した。かかりつけ歯科医を持つこと、また定期健診のきっかけづくりとしての役割は果たすことができた。令和3年度もナッジ理論の掲載内容を見直し、さらに無関心層に働きかけられるよう工夫をした受診券を作成し、発送している。無関心層への環境整備の一環として、歯や口の健康づくりに関する情報を提供するため、美容院や道の駅等、不特定多数のかたが利用する施設に協力を仰ぎ、啓発媒体の設置を進める。	若い世代からのむし歯及び歯周病予防を推進するための環境整備の推進を図る。		
										H28	H29	H30	R元	R2				
										全体								
										33.8%	31.4%	32.9%	34.3%	31.0%				
										30歳								
										35.1%	27.8%	30.2%	31.8%	25.7%				
										40歳								
										32.7%	31.0%	35.3%	37.7%	33.3%				
50歳																		
31.4%	32.2%	35.6%	32.5%	29.1%														
60歳																		
36.3%	36.0%	28.9%	33.9%	36.6%														
保健所健康増進課	かしわ歯科相談室	歯・口腔の健康に関して、歯科医師・歯科衛生士が個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。	柏歯科医師会	①なし ②なし	歯・口腔の健康に関する不安の軽減	○	○	○	○	○	○	かしわ歯科相談室利用者数					新型コロナウイルス感染症の影響により、5、6月は実施を見合わせた。また、例年、学校健診に合わせ実施していた矯正歯科相談専門日も緊急事態宣言による小中学校の休校により、学校健診の日程が変更になったため、当日の歯科医師の従事者数を3名から2名に減少し対応した。口腔内観察は感染リスクの高い行為であるため、今後もより感染予防対策を強化していく。	セカンドオピニオンとしての活用が年々増加しているため、各歯科医院でのインフォームドコンセントの徹底を歯科医師会を通して啓発していく。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												74人	119人	75人	60人	38人		



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増 進課	健康かむか む運動補助 金	柏歯科医師会が主催する 地域歯科保健医療啓 発の一環。 ・各種コンクール実施、 表彰 ・口腔がん検診 ・市民向け口腔啓発企画 等への補助事業	柏歯科医師 会 教育委員会	日本大学松戸歯学 部 北原学院歯科衛生 専門学校 東葛北部歯科技工 士愛 (株)グラクソ・スミス クリン・コンシュー マー・ヘルスケア ジャパン (株)松風 (株)ビーブランド (株)ケーオーデンタル モラージュ柏 イオンモール柏 こども図書館 あさひ通り商店会 ウラカシ百年会	歯や口腔の健 康づくりに関心 を持ち、主体的 に取り組む市民 が増える。	○	○	○	△	△	○	健康かむかむ運動参加者数 H28 H29 H30 R元 R2 2,568人 1,342人 1,570人 4,078人 中止	令和2年度は新型コロナウイルス感 染症の影響により、市民向けの啓発 イベントや口腔がん検診等は全て中 止となった。 新たな試みとして、歯や口の健康づく りに関する動画を作成し配信を行っ た。また、各ライフステージごとに啓 発チラシを作成し、幼稚園・保育園、 小学生から高齢者に配布し啓発活動 を行った。 令和3年度は新型コロナの感染状況 に応じて、活動の検討をしていく。	関係団体と連携を図 りながら、ライフス テージに応じた事業 及び啓発活動に取り 組んでいく

(3) 歯・口腔の健康づくりのための環境整備

⑧ 歯や口の状態に関する満足度(成人)

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所 健康増 進課	歯周病検診 事業 (※)	対象者(満30, 40, 50, 60 歳)に個人通知を行い, 委託医療機関にて歯周 ポケット測定等の歯周病 検診を実施する。	柏歯科医師 会	①なし ②なし	歯や口の状態 に満足している 人の割合増加							口腔内の満足度についてほぼ満足している人の割合	受診券にナッジ理論を活用したことで 受診率が約2倍に増加した。かかりつ け歯科医を持つこと, また定期健診 のきっかけづくりとしての役割は果た すことができた。令和3年度もナッジ 理論の掲載内容を見直し, さらに無 関心層に働きかけられるよう工夫をし た受診券を作成し, 発送している。 無関心層への環境整備の一環とし て, 歯や口の健康づくりに関する情 報を提供するため, 美容院や道の駅 等, 不特定多数のかたが利用する施 設に協力を仰ぎ, 啓発媒体の設置を 進める。	若い世代からのむし 歯及び歯周病予防を 推進するための環境 整備の推進を図る。				
												H28			H29	H30	R元	R2
						全体						33.8%			31.4%	32.9%	34.3%	36.1%
						30歳						35.1%			27.8%	30.2%	31.8%	37.9%
						40歳						32.7%			31.0%	35.3%	37.7%	33.6%
						50歳						31.4%			32.2%	35.6%	32.5%	34.9%
						60歳						36.3%			36.0%	28.9%	33.9%	38.9%
保健所 健康増 進課	かしわ歯科 相談室 (*)	歯・口腔の健康に関して, 歯科医師・歯科衛生士が 個別の相談に応じ, 必要 な指導及び助言を行う。	柏歯科医師 会	①なし ②なし	歯・口腔の健康 に関する不安の 軽減							かしわ歯科相談室利用者数	新型コロナウイルス感染症の影響に より, 5, 6月は実施を見合わせた。ま た, 例年, 学校健診に合わせ実施し ていた矯正歯科相談専門日も緊急事 態宣言による小中学校の休校によ り, 学校健診の日程が変更になった ため, 当日の歯科医師の従事者数を 3名から2名に減少し対応した。 口腔内観察は感染リスクの高い行為 であるため, 今後もより感染予防対 策を強化していく。	セカンドオピニオンと しての活用が年々増 加しているため, 各歯 科医院でのインフォ ームドコンセントの徹底 を歯科医師会を通し て啓発していく。				
												H28			H29	H30	R元	R2
												74人			119人	75人	60人	38人

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健福祉部 福祉政策課 地域包括支援課	柏フレイル予防プロジェクト2025 (*)	「フレイル(虚弱)」という概念を新たに取り入れ、市民、関係団体、学識経験者、市による「推進委員会」を設置・運営しながら、健康づくり事業の効果的な連動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進	医師会、歯科医師会、薬剤師会、東京大学、ふるさと協議会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、柏市民健康づくり推進員、スポーツ推進委員、東葛北部栄養士会、リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	①第一生命、介護事業者、イオン、JR東日本、日立、フィットネス振興会、ダンロップスポーツウエルネス ②ダンロップスポーツウエルネス	市民の意識・行動変容(栄養、身体活動、社会参加の促進)							推進委員会実施回数 H28 H29 H30 R元 R2 3回 3回 2回 1回 2回	令和2年度は、4月から柏フレイル予防ポイント制度をスタートさせたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりカード発行臨時窓口やポイント対象事業の活動が一時休止を余儀なくされた。夏以降は、市内大型SCや公共施設内などで臨時窓口の開設を行いポイントカード発行枚数は2,555枚となった。 令和3年度については、制度普及に向けた取り組みとして近隣センターでのカード発行を開始し、スポーツジムなど民間事業者と連携したポイント対象事業の拡大を引き続き推進する。	フレイル予防の普及・啓発と効果的な広報、地域における市民主体の活動の促進、フレイル予防に係る関係機関の連携・運動を推し進め、フレイル予防によるまちづくりの実現を目指していく。
保健福祉部 地域包括支援課	フレイル予防事業 (※)	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、口腔機能や嚥下をテーマとしたプログラムについて、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士等が講座を行う。	柏歯科医師会、柏歯科介護センター、柏市在宅リハビリテーション連絡会、地域包括支援センターなど	①なし ②なし	市民の意識・行動変容(口腔機能の改善)							フレイル予防講座(口腔)の参加者数 H28 H29 H30 R元 R2 378人 249人 81人 65人 12人	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により実施回数が減少した。その中でも、フレイルチェックによりリスクが高かった方に対して、個別の支援を行う事業を開始した。令和3年度では、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施にも取り組むことから、フレイルハイリスク者への個別支援も併せて、地域分析を行い、新たな事業に取り組むことを目指す。	地域分析によって出た課題や事業に対し、効果的な取り組みを図っていく。
												介護予防センター主催の教室 フレイル予防出前講座 285人 248人 394人 248人 中止		
												地域包括支援センター主催の教室 208人 196人 306人 74人 88人		
												フレイルハイリスク者への個別支援 - - - - 12人		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規 連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
市民生活部 保険年金課	保健事業利用助成事業 (お口のクリーニング事業)	18歳以上の柏市国保被保険者と後期高齢者医療保険被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から38歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。 お口のクリーニング事業は、歯みがきでは落とすきれない歯の付着物の除去や歯みがき指導等の健康相談、衛生指導を実施	柏歯科医師会	①なし ②なし	歯・口腔の健康状態の改善、生活習慣病の予防							お口のクリーニング利用者数					令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて 保健事業利用助成事業のメニューの一つとして、生活習慣病の入り口となるむし歯や歯周病の予防を目的として、歯みがきでは落とすきれない茶シブやタバコのヤニ、着色、入れ歯の汚れなどを専用機器を用いて磨き落としたり、歯みがき指導を実施している。 保健事業利用助成事業の利用者は年々増加していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少。	継続実施していく。	

7. 糖尿病

(1)若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防									
①糖尿病の指摘を受けた人の割合の減少									
②メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少									
③ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合の減少									
④じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数の減少									
⑤糖尿病医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少									

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性											
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期														
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、3か月以上の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛, 東葛ふたば, いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> <li>・千葉県国保連合会</li> </ul>	<p>①なし</p> <p>②なし</p>	生活習慣病の発症及び重症化の予防							特定健康診査受診率(法定報告)	<p>①メタボリックシンドローム該当者及び予備群が年々増加していることに対し、特定健診の更なる実施率の向上が必要であることから、「人工知能(AI)を活用した受診率向上」の取組を令和元年度から開始し令和3年度も継続し行っている。</p> <p>②令和2年度は、生活習慣病重症化予防のため、医療機関受診が必要な未受診者や、治療中断者に対する受診勧奨を実施した。令和3年度も継続。</p> <p>③人工透析導入の抑制を目的に、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を令和2年度に実施。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、内容を縮小し、健康講座、面接等を中心に行う内容とした。令和3年度については、令和元年度の内容に戻し、地域のかかりつけ医や専門医等との連携のもと、より効果的・効率的な実施方法として、柏市医師会に委託して、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を実施。具体的には、糖尿病専門医及び糖尿病看護認定看護師を有する柏市立柏病院、慈恵医大柏病院を実施医療機関を推薦していただき、柏市立柏病院を中心として身体測定、血圧測定、血液・尿検査、健康講座、面接、6ヶ月後の検査や面接の実施により評価を行う予定であったが、緊急事態宣言の発令下においては、急遽3回予定していた健康講座のうち2回の講座をDVDに録画し、対象者の視聴環境を確認の上、資料とあわせてDVD、視聴後のアンケートを送付し、自宅で受講できる形式に変更している。</p> <p>④令和3年度から、40歳台、50歳台の健診受診率を高めること、若い世代からの健診の習慣化を図ることで、生活習慣病の早期発見・早期治療につなげることを目的に、39歳を対象に「プレ特定健康診査」を開始する。生活習慣の改善を要する方に対し、保健指導を実施する。</p> <p>⑤保健指導においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、遠隔面談を実施。また、保健指導を継続して取り組んだ方、結果改善が見られた方に対し記念品と賞状を付与するインセンティブを開始した。令和3年度も継続し実施する。</p>	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。											
												H28			H29	H30	R元	R2	42.3%	42.4%	42.5%	46.8%	11月1日以降確定		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
市民生活部 保険年金課	国保 保健事業利用費助成事業 (18歳から38歳の健診)	18歳以上の柏市国保被保険者に対し、申請に基づき保健事業利用券を年間8枚交付(1枚1,000円相当)。18歳から38歳の健診事業、はり等施術事業、お口のクリーニング事業、運動事業に利用できる。18歳から38歳の健診事業は26年度からの新規事業。受診希望者に対し受診券を発行し、特定健診と同様の健診を実施する。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの生活習慣病予防					○		18歳から39歳の健診実施状況					令和2年度は、健診受診の習慣化及び生活習慣病の早期発見、早期治療による重症化の予防を目的に、35歳から39歳までの方を対象に、受診勧奨を実施した。2回目の受診勧奨は、受診券を申請した者の中で、受診をしていない方を対象に勧奨通知を送付しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり利用者数は横ばいであった。 令和3年度は、40歳台、50歳台の健診受診率を高めること、健診の習慣化、生活習慣病の早期発見・早期治療を図ることを目的に、39歳を対象に「プレ特定健康診査」を開始する。このことで、18歳から39歳の健診事業の名称は、「18歳から38歳の健診」に変更している。 今年度も引き続き、35歳から38歳までの国保被保険者に対し、利用勧奨を行い、生活習慣の改善を要する方に対し、保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」、「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												受診券発行数						
												237人	218人	479人	469人	593人		
												受診者数						
158人	138人	291人	310人	315人														
保健所健康増進課	柏市健康診査 (無保険者)	40歳以上で、無保険の生活保護受給者を対象に、特定健診と同内容の健診を指定医療機関にて実施。 74歳以下の対象者に個別通知、75歳以上は申し込み制。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。				○	○		受診者数					令和2年度の受診者数はほぼ横ばいだが、過去5年間で157人増となっている。 令和3年度は40～74歳は申込制から全数通知により、個別の受診勧奨につなげる。	生活支援課との協働により、受診勧奨に努める。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												239人	278人	321人	365人	394人		
保健所健康増進課	柏市地域栄養相談システム	生活習慣病等で治療中の市民が、かかりつけ医の紹介により、市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し、生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会(柏地区)	①なし ②なし	内臓脂肪症候群の予防、罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。				○	○	○	利用者数(延べ数)					感染症拡大につき、受診を控える傾向にあったため、本システムの利用者は減少した。 食事療法の必要性を伝えるために作成している周知用リーフレットを、引き続き配付していく。 診療報酬の外来栄養食事指導料2が新設されたため、本システムとの関連性を検討する計画であったが、会議が中止となり実施できなかった。今後の会議において、利用者が活用しやすいよう体制整備を図っていく。 本システムを周知していない産婦人科からの依頼が増加しているため、他の産婦人科の意向を確認するためのアンケートを計画している。医療機関の負担にならないよう実施の時期を検討しながら進める。	適切な食事療法を行えるよう、引き続きシステムの周知や改善を図る。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												225人	214人	184人	186人	141人		

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ					実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	25			
保健所健康増進課	健康づくり普及啓発事業(※)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①モラージュ柏 第一生命 ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。							令和2年度は、新型コロナウイルス流行に伴い、例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され、啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に合わせて実施した企画展示にて、糖尿病に関するリーフレットを設置し、啓発を実施した。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っている。
						啓発実施者数(全数)					H28		
						4,869人	1,872人	2,657人	4,973人	2,833人			
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む							
						依頼の健康教育参加者数(講師:保健師)							
						-	-	95人	38人	中止			
						※H30年度~健康増進課として計上							
保健所健康増進課	地域・職域連携推進事業(*)	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進  社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加							・事業所向けの健康情報のメール配信は年間11回実施。令和2年度は、栄養や生活習慣病予防等の健康づくりに関する情報の他、新型コロナウイルス感染症の内容も取り入れた。コロナ禍でメール配信の周知機会が減り、登録事業所数があまり増えていないため、令和3年度は機会を捉えて積極的に周知を進めていく。 ・健(検)診や健康づくり、各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを改訂し、事業所等に配付。令和3年度も内容を見直し作成、配付を行う。 ・新型コロナの影響で、協議会は1回のみ(書面開催)となり、事業所向け講習会も中止となった。令和3年度の講習会の実施については、柏労働基準協会とも調整を図り実施に向けた検討を進める。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法を検討し、関係団体と連携を図りながら取組を推進する。
						メール配信登録事業所数					H28		
						27社	36社	47社	60社	62社			
						講習会参加事業所数							
						15社	29社	52社	43社	中止			

(2) 定期的な健康診査の受診																									
⑥ 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加																									
⑦ 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加																									
⑧ 糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少																									
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性											
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期														
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導 (※)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、3か月以上の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<p>柏市医師会 ちば県民保健予防財団 人間ドック、脳ドック実施医療機関 JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) 千葉県厚生農業共同組合連合会 沼南商工会 柏商工会議所 千葉県国保連合会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>							特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)	<p>①メタボリックシンドローム該当者及び予備群が年々増加していることに対し、特定健診・特定保健指導の更なる実施率の向上が必要であることから、「人工知能(AI)を活用した受診率向上」の取組を令和元年度から開始し令和2年度も実施。</p> <p>②新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、安全な保健指導を行うことができるよう、令和2年度からは遠隔面談を取り入れている。</p> <p>また、保健指導を継続して行うための支援として、保健指導を継続して取り組んだ方、結果の改善が見られた方に対し、賞状と記念品を付与するインセンティブを令和2年度から開始している。</p> <p>③令和2年度は、生活習慣病重症化予防のため、医療機関受診が必要な未受診者や、治療中断者に対する受診勧奨を実施した。</p> <p>①②③については、令和3年度も継続。</p>	<p>「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」,「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。</p>											
												H28			H29	H30	R元	R2	42.3%	42.4%	42.5%	46.8%	11月1日以降確定		
																				特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)	21.4%	23.0%	29.0%	30.0%	同上
																				メタボリックシンドローム該当者の割合 (法定報告)					
																				男性	27.4%	28.4%	29.3%	同上	
																				女性	8.3%	8.9%	9.5%	同上	
																				メタボリックシンドローム予備群の割合 (法定報告)					
																				男性	17.4%	17.3%	18.0%	17.1%	同上
																				女性	6.1%	5.8%	6.1%	6.1%	同上
																				ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%以上の人の割合(年度報告))					
													7.9%	7.9%	8.1%	8.7%	10.7%								



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新 規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及 び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
市民生活部 保険年金課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から38 歳の健診) (*)	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し、申請に基 づく保健事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から38歳 の健診事業、はり等施術 事業、お口のクリーニン グ事業、運動事業に利用 できる。18歳から38歳の 健診事業は26年度から の新規事業。受診希望 者に対し受診券を発行 し、特定健診と同様の健 診を実施する。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健 康の保持増進 若い世代から の生活習慣病 予防					○		18歳から39歳の健診実施状況					令和2年度は、健診受診の習慣化及び 生活習慣病の早期発見、早期治療による 重症化の予防を目的に、35歳から39歳 までの方を対象に、受診勧奨を実施し た。2回目の受診勧奨は、受診券を申請 した者の中で、受診をしていない方を対 象に勧奨通知を送付しているが、新型コ ロナウイルス感染症の感染拡大もあり利 用者は横ばいであった。 令和3年度は、40歳台、50歳台の健 診受診率を高めること、健診の習慣化、 生活習慣病の早期発見・早期治療を図 ることを目的に、39歳を対象に「プレ特定 健康診査」を開始する。このことで、18歳 から39歳の健診事業の名称は、「18歳 から38歳の健診」に変更している。 「18歳から38歳の健診」においては、 今年度も引き続き、35歳から38歳まで の国保被保険者に対し、利用勧奨を行 い、生活習慣の改善を要する方に対し、 保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険 第2期保健事業実施 計画(データヘルス計 画)」、「柏市国民健康 保険第3期特定健診 等実施計画」の計画 期間の中間評価を踏 まえた取組を実施す る。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												受診券発行数						
												237人	218人	479人	469人	593人		
												受診者数						
158人	138人	291人	310人	315人														
保健所 健康増 進課	柏市健康診 査 (無保険者) (*)	40歳以上で、無保険の 生活保護受給者を対象 に、特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知、希 望者は申し込み。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防、罹 患している病 状の安定や重 症化予防への 行動が取れる ようにする。					○	○	受診者数					令和2年度の受診者数はほぼ横ばいだ が、過去5年間で157人増となっている。 令和3年度は40～74歳は申込制から全 数通知により、個別の受診勧奨につなげ る。	生活支援課との協働 により、受診勧奨に努 める。
												H28	H29	H30	R元	R2		
												239人	278人	321人	365人	394人		

8. 循環器疾患

(1)若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防																								
①循環器疾患の指摘を受けた人の割合の減少																								
②循環器疾患による死亡者数の減少																								
③循環器疾患医療費(国民健康保険 1月あたりの総点数)の減少																								
④LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)の減少																								
⑤収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																								
⑥拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)の減少																								
⑦【再掲】メタボリックシンドローム[内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)の減少																								
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、3か以上の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<p>柏市医師会 ちば県民保健予防財団 人間ドック、脳ドック実施医療機関 JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ) 千葉県厚生農業共同組合連合会 沼南商工会 柏商工会議所 千葉県国保連合会</p>	<p>①なし ②なし</p>	<p>生活習慣病の発症及び重症化の予防</p>							<p>特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R元</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>42.3%</td> <td>42.4%</td> <td>42.5%</td> <td>46.8%</td> <td>11月1日以降確定</td> </tr> </table>	H28	H29	H30	R元	R2	42.3%	42.4%	42.5%	46.8%	11月1日以降確定	<p>①令和3年度は、前年度に引き続き、生活習慣病重症化予防のため、医療機関の受診が必要な状態であるのに受診していない未受診者や、治療中断者に対する受診勧奨を実施する。</p> <p>②保健指導においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、遠隔面談を令和2年度から取り入れている。また、保健指導を継続して取り組んだ方、結果の改善が見られた方に対し、記念品と賞状を付与するインセンティブを開始している。</p> <p>③令和3年度から、40歳台、50歳台の健診受診率を高めること、健診の習慣化に繋げることを目的に、39歳を対象に「プレ特定健康診査」を開始する。保健指導が必要な方に、「健康づくり相談」を実施している。</p>	<p>「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」, 「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。</p>
						H28	H29	H30	R元	R2														
						42.3%	42.4%	42.5%	46.8%	11月1日以降確定														
												<p>特定保健指導実施率(法定報告)(再掲)</p> <table border="1"> <tr> <td>21.4%</td> <td>23.0%</td> <td>29.0%</td> <td>30.0%</td> <td>同上</td> </tr> </table>	21.4%	23.0%	29.0%	30.0%	同上							
						21.4%	23.0%	29.0%	30.0%	同上														
						LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)						全体	31.8%	31.0%	30.6%	31.7%	32.7%							
												男性	26.7%	26.2%	25.7%	26.8%	27.9%							
												女性	35.3%	34.2%	33.9%	34.9%	35.9%							
						収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)						全体	24.7%	23.5%	22.8%	23.1%	27.0%							
												男性	27.7%	26.6%	25.5%	25.3%	28.8%							
												女性	22.8%	21.4%	21.1%	21.6%	25.9%							
						拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)(年度報告)						全体	11.8%	12.0%	10.8%	11.3%	12.8%							
												男性	15.8%	16.1%	14.3%	14.6%	15.9%							
						女性	9.2%	9.2%	8.4%	9.1%	10.6%													



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期			
保健所 健康増進課	柏市地域栄養相談システム (*)	生活習慣病等で治療中の市民が, かかりつけ医の紹介により, 市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し, 生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会(柏地区)	①なし ②なし	内臓脂肪症候群の予防, 罹患している病状の安定や重症化予防への行動が取れるようにする。							利用者数(延べ数)	感染症拡大につき, 受診を控える傾向にあったため, 本システムの利用者は減少した。 食事療法の必要性を伝えるために作成している周知用リーフレットを, 引き続き配付していく。 診療報酬の外来栄養食事指導料2が新設されたため, 本システムとの関連性を検討する計画であったが, 会議が中止となり実施できなかった。今後の会議において, 利用者が活用しやすいよう体制整備を図っていく。本システムを周知していない産婦人科からの依頼が増加しているため, 他の産婦人科の意向を確認するためのアンケートを計画している。医療機関の負担にならないよう実施の時期を検討しながら進める。	適切な食事療法を行えるよう, 引き続きシステムの周知や改善を図る。
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	イベント, 健康教育等の中で運動, 食, タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし, 幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで, 健康に関する気づきの場を作る。							啓発実施者数(全数)	令和2年度は, 新型コロナウイルス流行に伴い, 例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され, 啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて, 循環器に関するリーフレットや脂肪模型を設置し, 啓発を実施した。 また, 「第一生命」との協定により, 第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり, 「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。 その他に, 地域職域と連携し, 一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。 令和3年度は, 引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し, 健康情報を広く周知, 啓発していく予定。	健康増進計画の目標値達成に近づける内容の啓発を行っていく。



(2) 定期的な健康診査の受診																								
⑧【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)の増加																								
⑨【再掲】柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)の増加																								
⑩循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少																								
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性										
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期													
市民生活部 保険年金課	柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導(※)	<p>&lt;特定健康診査&gt; 40歳以上の柏市国保加入者を対象に、生活習慣病予防を目的とした健診を実施。</p> <p>&lt;特定保健指導&gt; 特定健診の結果よりメタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、3か月以上の生活習慣改善のための特定保健指導を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市医師会</li> <li>・ちば県民保健予防財団</li> <li>・人間ドック、脳ドック実施医療機関</li> <li>・JA(ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ)</li> <li>・千葉県厚生農業共同組合連合会</li> <li>・沼南商工会</li> <li>・柏商工会議所</li> <li>・千葉県国保連合会</li> </ul>	<p>①なし</p> <p>②なし</p>	生活習慣病の発症及び重症化の予防								特定健康診査受診率(法定報告)(再掲)	<p>①メタボリックシンドローム該当者及び予備群が年々増加していることに対し、特定健診・特定保健指導の更なる実施率の向上が必要であることから、「人工知能(AI)を活用した受診率向上」の取組を令和元年度から開始し令和2年度も実施。令和3年度も継続し実施。</p> <p>②令和3年度から、40歳台、50歳台の健診受診率を高めること、健診の習慣化を図ること、生活習慣病の早期発見・早期治療を目的に、39歳を対象に「プレ特定健康診査」を開始。</p> <p>③令和2年度は、生活習慣病重症化予防のため、医療機関の受診が必要な未受診者や、治療中断者に対する受診勧奨を実施した。令和3年度も継続し実施している。</p> <p>④保健指導においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、遠隔面談を令和2年度から取り入れている。令和3年度も継続し実施している。</p>	「柏市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」, 「柏市国民健康保険第3期特定健診等実施計画」の計画期間の中間評価を踏まえた取組を実施する。									
												H28	H29			H30	R元	R2	42.3%	42.4%	42.5%	46.8%	11月1日以降確定	

所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果, 今後の課題と 考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性								
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期											
市民生活部 保険年金課	国保 保健 事業利用費 助成事業 (18歳から38 歳の健診) (* )	18歳以上の柏市国保被 保険者に対し, 申請に基 づく保健事業利用券を 年間8枚交付(1枚1,000 円相当)。18歳から38歳 の健診事業, はり等施術 事業, お口のクリーニン グ事業, 運動事業に利用 できる。18歳から38歳の 健診事業は26年度から の新規事業。受診希望 者に対し受診券を発行し, 特定健診と同様の健診 を実施する。	柏市医師会	①なし ②なし	被保険者の健康の保持増進 若い世代からの 生活習慣病予防							18歳から39歳の健診実施状況					令和2年度は, 健診受診の習慣化 及び生活習慣病の早期発見, 早期 治療による重症化の予防を目的に, 35歳から39歳までの方を対象に, 受診勧奨を実施した。2回目の受診 勧奨は, 受診券を申請した者の中 で, 受診をしていない方を対象に勧 奨通知を送付しているが, 新型コロナ ウイルス感染症の感染拡大もあり 利用者は横ばいであった。 令和3年度は, 40歳台, 50歳台の 健診受診率を高めること, 健診の習 慣化, 生活習慣病の早期発見・早期 治療を図ることを目的に, 39歳を対 象に「プレ特定健康診査」を開始す る。このことで, 18歳から39歳の健 診事業の名称は, 「18歳から38歳 の健診」に変更している。 今年度も引き続き, 35歳から38歳 までの国保被保険者に対し, 利用勧 奨を行い, 生活習慣の改善を要する 方に対し, 保健指導を実施する。	「柏市国民健康保険第 2期保健事業実施計画 (データヘルス計画)」, 「柏市国民健康保険第 3期特定健診等実施計 画」の計画期間の中間 評価を踏まえた取組を 実施する。				
											H28	H29	H30	R元	R2	受診券発行数						
											237人	218人	479人	469人	593人	受診者数						
											158人	138人	291人	310人	315人							
保健所 健康増 進課	柏市健康診 査 (無保険者) (* )	40歳以上で, 無保険の 生活保護受給者を対象 に, 特定健診と同内容の 健診を指定医療機関に て実施。 対象者に個別通知, 希 望者は申し込み。	生活支援課 柏市医師会	①なし ②なし	内臓脂肪症候 群の予防, 罹患 している病状の 安定や重症化 予防への行動 が取れるように する。							受診者数					令和2年度の受診者数はほぼ横ば いだが, 過去5年間で157人増となっ ている。令和3年度は40~74歳は申 込制から全数通知により, 個別の受 診勧奨につなげる。	生活支援課との協働に より, 受診勧奨に努め る。				
											H28	H29	H30	R元	R2							
											239人	278人	321人	365人	394人							

9. がん

(1)がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及																			
①がんによる死亡者数の減少																			
所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性					
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期								
保健所 総務企画課	がん対策	・がん対策検討会議(議員及び庁内関係部署、がん診療連携拠点病院)の開催 ・議会への事業報告 ・保健衛生審議会への報告	庁内関係部局 がん診療連携拠点病院 医師会など	①なし ②なし	「柏市がん対策基本条例」に基づき関係機関との連携のもと、がん対策を効果的かつ効率的に推進	○	○	○	○	○	○	がん対策検討会議実施状況					・がんに関する健康課題についての直接的な取り組みではないが、がん対策検討会議を書面にて1回実施。柏市におけるがん対策について、がん対策関係部署とがん診療拠点病院及び千葉県がん診療連携協力病院間にて情報及び課題を共有した。	第3期がん対策推進基本計画および現状を踏まえ、また、国の「がんとの共生」に関する検討会、計画の中間評価の動向等を見つつ、柏市全体としての取り組みを関係機関で共有・検討しながら推進していく。	
												H28	H29	H30	R元	R2			
												4回	4回	2回	2回	1回			
保健所 保健予防課 保健所健康増進課	肝炎ウイルス検査	柏市民で、これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがなく、他で検査を受ける機会のないかた、感染を心配するリスク行為があったかたを対象に検査を実施。	柏市医師会	①なし ②なし	肝炎ウイルス感染を早期に発見し、適切な検査・治療へつなぐことで、肝硬変や肝がんへの進行による重症化を防ぐ							肝炎ウイルス検査実施数					当事業は、平成26年度より健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査として開始され、平成30年度で、平成26年度からの5歳刻みへの通知が一巡した。令和元年度より、一巡目で未受診だった方へ引き続き個別勧奨を実施し、未受診者の減少を図っており、令和3年度も実施する。平成28年度より陽性者フォローアップ事業を開始し、検査結果が陽性となった方へ精密検査受診勧奨を行い、受診や治療へ結びついているかどうかを確認している。昨年の陽性者はB型が15名、C型が6名となっている。フォローアップ対象者の同意取得率は7割程度である。対象者でない陽性者に対しても受診勧奨と確認を実施している。令和3年度も引き続き、陽性者全員の受診勧奨と受診確認を実施していく。	継続して対象者への個別勧奨及び陽性者フォローアップ事業を継続していく。	
												6,725人	7,185人	8,194人	4,535人	4,492人			



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性				
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期							
保健所健康増進課	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業	<p>特定の年齢のかたに無料クーポン、検診手帳(啓発用)を送付し、該当するがん検診について、無料で受診することができる。対象となるがん検診は、乳、子宮頸がん検診(大腸はH27年度まで実施)。</p> <p>個別の受診勧奨(新規登録)・再勧奨(がん検診登録者の一部)を実施。</p> <p>精密検査未受診者に対する受診勧奨通知及び特定の年齢に達する対象者への受診勧奨を行う。</p>	柏市医師会 ちば県民保健 予防財団 医療センター	①なし ②なし	がん検診を受け るきっかけとして、 今まで受診 したことがない 人が受診すること で、受診率向上に 寄与する。							クーポン利用率	<p>無料クーポン利用率は、子宮頸がん 無料検診が一桁台、乳がん無料検診 が20%台で推移している。</p> <p>個別の受診勧奨は一部節目年齢と転 入者へ、受診再勧奨は登録者のうち 未受診者へそれぞれ実施していた が、新型コロナウイルスまん延防止の ための緊急事態宣言により検診事業 を縮小したため、令和2年度は実施せ ず。令和3年度は令和2年度の対象者 も含め実施予定。</p> <p>精密検査未受診者への受診勧奨通 知及び再勧奨の電話連絡は実施を継 続する。</p>	<p>無料クーポン券事業 は継続。</p> <p>個別の受診勧奨は継 続。再勧奨ナッジ理 論を導入した文面で 継続実施。</p> <p>精密検査未受診者へ の受診勧奨は返信は がきによる受診結果 把握に努める。再勧 奨は電話により継続 実施。</p>				
						H28	H29	H30	R元	R2	12.0%	24.5%			22.8%	23.3%	20.4%	
						乳がん						4.6%			2.9%	4.2%	4.0%	6.4%
						子宮頸がん												
保健所健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (※)	<p>イベント、健康教育等 の中で運動、食、タバコ、 がん検診登録勧奨、がん予 防等健康に関する啓発を 実施。一般市民を対象と し、幅広いテーマについて の啓発を行う。</p>	<p>庁内関係各 課 各種団体及び 企業関係 ふるさと協議 会 柏市医師会</p>	①なし ②なし	<p>・幅広いライフス テージの市民を 対象にポピュ レーションア プローチをす ること、健康に 関する気づきの場 を作る。</p> <p>・がん検診新規 登録者数の増 加</p>							啓発実施者数(全数)	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス流 行に伴い、例年啓発のために参加 していた市内イベントは中止され、啓 発実施者数が減少している。9月の健 康増進普及月間や10月のがん検診 受診率50%達成に向けた集中キャン ペーン月間似合わせて実施した企画 展示にて、がんに関するリーフレット や脂肪模型を設置し、啓発を実施し た。</p> <p>また、「第一生命」との協定により、第 一生命の顧客へ毎月市で作成した 「かしわ健康メッセージ」を配付した り、「モラージュ柏」で発行している「モ ラージュママ」を通じて健康情報を発 信することができた。</p> <p>その他に、地域職域と連携し、一般企 業等への健康に関する啓発物品(脂 肪模型等)の貸し出しを開始した。 令和3年度は、引き続き「第一生命」 および「モラージュ柏」と連携し、健康 情報を広く周知、啓発していく予定。 また、ホームページによる発信の充実 を図る。</p>	<p>啓発の新たな取り組 みとして、フリーペ ーパーを作成予定。</p> <p>個別の受診勧奨(登 録勧奨)、受診再勧奨 について、受診率向 上の効果が高いた め、事業をより拡大 していく予定。</p> <p>精密検査の受診率向 上を目指し、精密検 査の受診勧奨を継続 する。</p>				
						H28	H29	H30	R元	R2	4,869人	1,872人			2,657人	4,973人	2,833人	
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						啓発実施者数(がん)						
						900人	1,450人	2,003人	2,409人	1,500人	健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。							
						※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						
						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						
						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						
						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						
						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						
						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間似合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。						



所管課	事業名	事業概要 (対象者・内容等)	連携機関	①民間企業 ②令和3年度新規連携機関・部署	期待する効果	ライフステージ						実績値 (実施回数・参加者数・参加率等)	令和2年度取り組みの成果、今後の課題と考察及び令和3年度の取り組みについて	令和4年度の方向性		
						乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期					
保健所 地域保健課	啓発事業 (*)	イベント等の中で運動、食、タバコ等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 柏市民健康づくり推進員 各種団体及び企業関係	①なし ②なし	幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 2,298人 2,169人 758人 651人 中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民を対象とした健康教育が中止となり、啓発の機会を確保することができなかった。コロナ禍における啓発の方法や使用媒体、周知方法について、引き続き検討を行う。	年間計画に基づいた啓発を実施する。		
保健所 健康増進課	健康づくり普及啓発事業 (*)	イベント、健康教育等の中で運動、食、タバコ、がん検診登録勧奨、がん予防等健康に関する啓発を実施。一般市民を対象とし、幅広いテーマについての啓発を行う。	庁内関係各課 各種団体及び企業関係 ふるさと協議会 柏市医師会	①なし ②なし	・幅広いライフステージの市民を対象にポピュレーションアプローチをすることで、健康に関する気づきの場を作る。 ・がん検診新規登録者数の増加	○	○	○	○	○	○	啓発実施者数(全数) H28 H29 H30 R元 R2 4,869人 1,872人 2,657人 4,973人 2,833人 ※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む 啓発実施者数(がん) 900人 1,450人 2,003人 2,409人 1,500人 ※H28年度までは、柏市民健康づくり推進員の活動を含む 健康教育参加者数(講師:保健師) - - 13,782人 16,909人 中止 がん検診新規登録者数(延人数) 26,100人 28,873人 23,084人 19,139人 13,308人	令和2年度は、新型コロナウイルス流行に伴い、例年啓発のために参加していた市内イベントは中止され、啓発実施者数が減少している。9月の健康増進普及月間や10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に合わせて実施した企画展示にて、がんに関するリーフレットや脂肪模型を設置し、啓発を実施した。また、「第一生命」との協定により、第一生命の顧客へ毎月市で作成した「かしわ健康メッセージ」を配付したり、「モラージュ柏」で発行している「モラージュママ」を通じて健康情報を発信することができた。その他に、地域職域と連携し、一般企業等への健康に関する啓発物品(脂肪模型等)の貸し出しを開始した。令和3年度は、引き続き「第一生命」および「モラージュ柏」と連携し、健康情報を広く周知、啓発していく予定。また、ホームページによる発信の充実を図る。	啓発の新たな取り組みとして、フリーペーパーを作成予定。 個別の受診勧奨(登録勧奨)、受診再勧奨について、受診率向上の効果が高いため、事業をより拡大していく予定。 精密検査の受診率向上を目指し、精密検査の受診勧奨を継続する。		
保健所 健康増進課	地域・職域連携推進事業 (*)	柏地域・職域連携推進協議会 事業所向けの健康情報等のメール配信 啓発リーフレットの配付 事業所向け講習会	柏労働基準監督署 柏労働基準協会 柏商工会議所 柏市沼南商工会 代表企業(2社) 東葛北部地域産業保健センター 全国健康保険協会千葉支部 柏市医師会 柏歯科医師会	①健康づくりに取り組む事業所(3社) ②なし	働く世代の生活習慣病予防とこころの健康づくりの推進 社員の健康づくりに積極的に取り組む事業所の増加						○	○	△	メール配信登録事業所数 H28 H29 H30 R元 R2 27社 36社 47社 60社 62社 講習会参加事業所数 15社 29社 52社 43社 中止	・事業所向けの健康情報のメール配信は年間11回実施。令和2年度は、栄養や生活習慣病予防等の健康づくりに関する情報の他、新型コロナウイルス感染症の内容も取り入れた。コロナ禍でメール配信の周知機会が減り、登録事業所数があまり増えていないため、令和3年度は機会を捉えて積極的に周知を進めていく。 ・健(検)診や健康づくり、各種相談窓口の情報をまとめたリーフレットを改訂し、事業所等に配付。令和3年度も内容を見直し作成、配付を行う。 ・新型コロナの影響で、協議会は1回のみ(書面開催)となり、事業所向け講習会も中止となった。令和3年度の講習会の実施については、柏労働基準協会とも調整を図り実施に向けた検討を進める。	働く世代の健康づくり、職場での健康づくりの推進につながる配信内容、啓発方法を検討し、関係団体と連携を図りながら取組を推進する。